Copyright Quadcept Inc. All Rights Reserved.

Quadcept　Ver10　部品データの共有と運用方法

2019年11月8日

Quadcept株式会社
森本　泰久

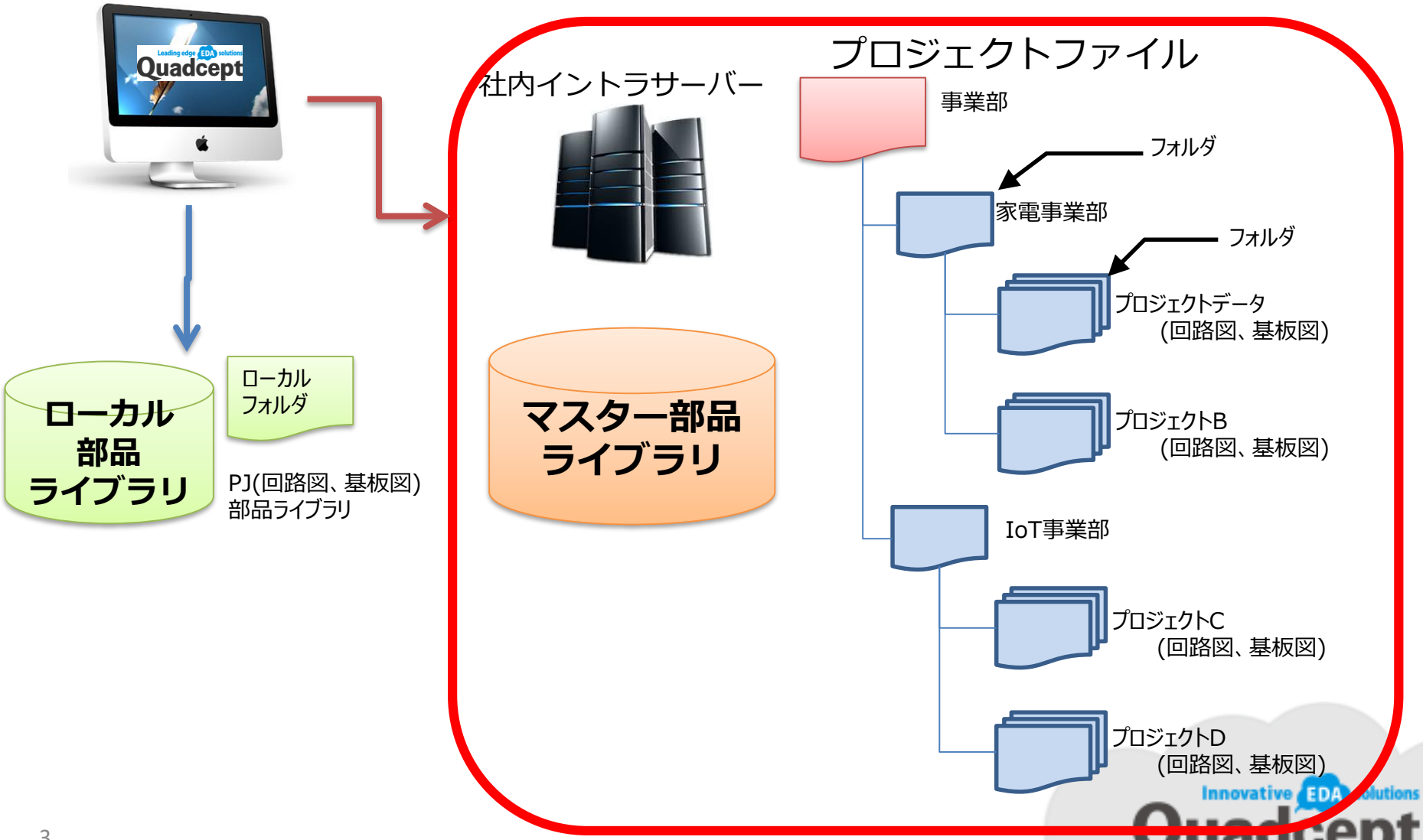
Copyright Quadcept Inc. All Rights Reserved.

- 2019年11月11日リリースのVer10のリリースバージョン以降、Quadceptのデータベースを部品データベースとプロジェクトファイルに分けて生成・保持するマスターDBバージョンが標準でリリースされます。
- マスターDBのバージョンでは、部品データベースは、設計作業領域（ローカル）とは別に、管理者領域(センターサーバ)とでの部品の運用をすることができます。
- これによって、ローカルサーバと共有のファイルサーバとで分けて運用することができます。
- また、部品ライブラリと切り離して、独立してデータのやりとりを行うことができるライブラリキャッシュの機能がつきました。

Innovative EDA solutions Quadcept

Quadcept システム概要図

Copyright Quadcept Inc. All Rights Reserved.



Copyright Quadcept Inc. All Rights Reserved.

1. 部品について
    1. 部品の構造

2. 部品の共有について
    1. 部品の共有について
    2. 保存領域（共有設定）について
    3. 保存領域（共有設定）の変更
    4. share部品の保存

3. プロジェクトファイルの運用方法について
    1. プロジェクトについて
    2. プロジェクトの新規作成
    3. プロジェクトを開く
    4. プロジェクトを閉じる
    5. プロジェクトの保存
    6. プロジェクトファイルの保存先を開く
    7. オブジェクトの抽出
    8. オブジェクトのLink先を表示する
    9. プロジェクトファイルのプロパティを表示する

Innovative EDA solutions Quadcept

Copyright Quadcept Inc. All Rights Reserved.

4. 更新者・作成者・リビジョン情報の表示機能について

5. ファイルロック機能について

6. パネル配置・更新機能について
    1. パネルシートの作成
    2. パネル配置
    3. パネル更新
    4. パネルからPCBの抽出

7. その他変更点
    1. メニュー構成の変更
    2. 回路図シートのツリー化
    3. その他ファイル(Misc)のツリー化
    4. ファイルダブルクリックによるQuadcept起動
    5. 部品検索機能の強化
    6. オブジェクト一覧の出力
    7. DBレポート

Innovative EDA solutions Quadcept

Quadcept　1－1．部品について

Copyright Quadcept Inc. All Rights Reserved.

部品の概要説明

Quadcept の部品では、下記の情報を設定することが可能です。

部品名（74LS08）

■Reference

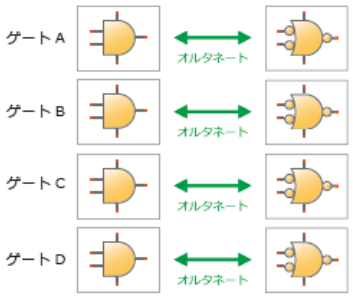
U1　部品の Reference 文字を設定することができます。

■属性情報

メーカー	ON Semiconductor
仕入価格	¥100
在庫情報	2,000
廃番情報	2012 年 5 月廃番予定

部品の属性情報を設定することができます。

■シンボルの登録　リンク登録



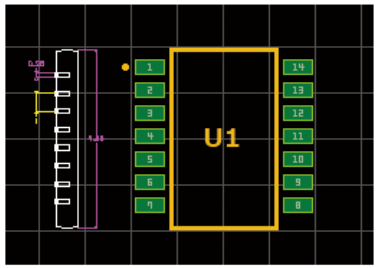
回路図上での部品形状をシンボルとして作成し、リンク登録します。オルタネート登録はシンボルに対して行います。

■ピン情報

ピン番号	ピン名称	電気特性	スワップ
1	1A	入力	SWAP/A/1
2	2B	入力	SWAP/A/2
3	1Y	出力	SWAP/A/3
4	2A	入力	SWAP/B/1
⋮	⋮	⋮	⋮
14	VCC	電源	

部品に含まれるピンの情報を設定することができます。
・ピン番号　・電気特性
・ピン名称　・スワップ情報

■フットプリントの登録　リンク登録



基板上での部品形状をフットプリント、または IPC フットプリントとして作成し、リンク登録します。

Quadceptの部品は、部品の形状についての情報や内部的な属性についての情報が定義、登録されています。
部品は、シンボル（回路図部品形状）やフットプリント（PCB部品形状）をあらかじめ用意しリンク登録できます。
リンク登録によってシンボルやフットプリントの形状を修正した場合に、登録されている部品がすべて一括で変更されるので、形状を変更する度に何度も登録する必要がありません。

部品とは

部品　＝　Reference　＋　属性情報　＋　ピン情報
＋　回路図形状（シンボル）　＋　PCB形状（フットプリント）

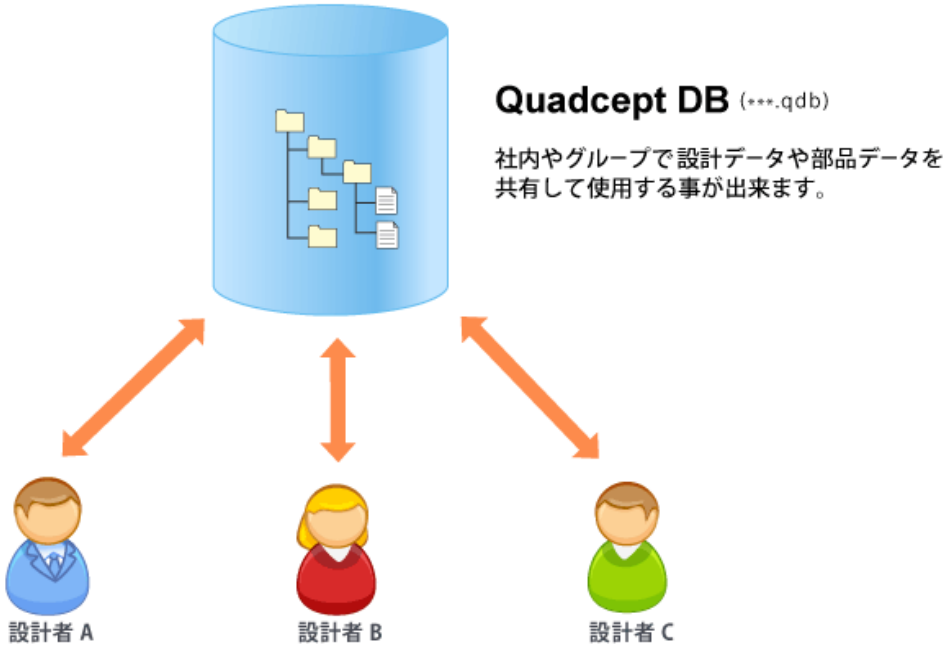
で構成され、部品を作成することにより回路とPCBの連携や部品の管理が容易になります。

Innovative EDA solutions Quadcept

Quadcept　2－1．部品の共有について

Copyright Quadcept Inc. All Rights Reserved.

Quadceptでは、「プロジェクト」を除く全てのファイルはデータベース形式(*.qdb)で
管理されております。部品を含む各データを共有したい場合は
「保存領域（共有設定）」の設定にて同一のデータベースを参照することで共有が可能となります。

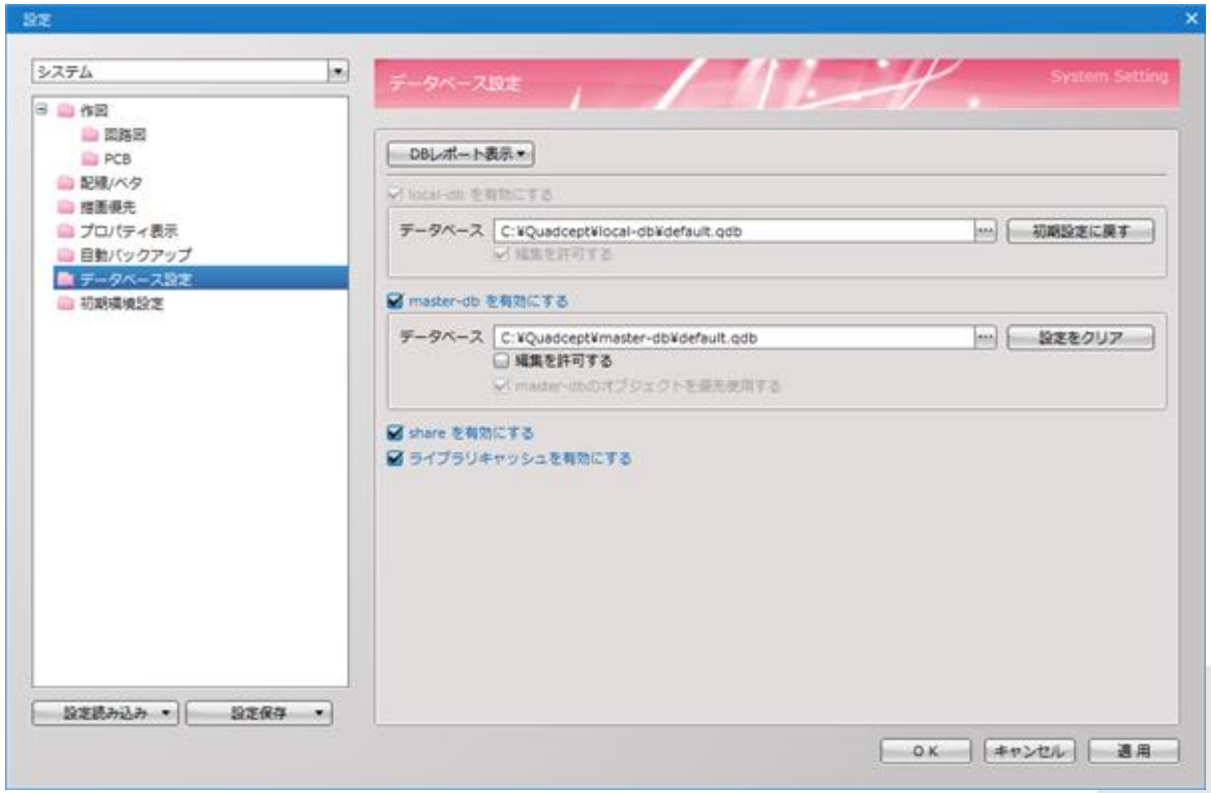


2－2. 保存領域（共有設定）について(1/5)

Copyright Quadcept Inc. All Rights Reserved.

■保存領域（共有設定）について

「保存領域（共有設定）」では参照するQDBのパスを設定することができます。
複数ユーザーでデータの共有を行う場合は、保存領域の設定を同一の設定としてください。
また、新バージョンでは「local-db」「master-db」として、2つのQDBを保存領域に設定することが可能となりました。これによりローカルサーバと共有サーバとでデータベースを分けて運用が可能です。
それぞれの特徴、違いについては次ページ以降をご参照ください。



Innovative EDA solutions Quadcept

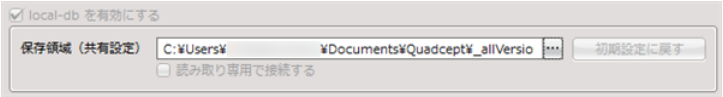
2－2. 保存領域（共有設定）について(2/5)

Copyright Quadcept Inc. All Rights Reserved.

■「local-db」と「master-db」の違いについて

新バージョンでは「local-db」「master-db」として2つのQDBを保存領域に指定可能です。
それぞれの特徴、違いとしては以下の通りとなります。

「local-db」：



自由にファイルの追加/削除、編集が行える作業用の保存領域です。
これまでのQDBと同様の操作、運用を行っていただけます。
※ローカルという名称になりますが、共有サーバー等、共有スペースにデータベースを移すことも可能です。

一般ユーザーは、こちらに「Part Lib.qdb」を設定してください。

「master-db」：

データ参照用のRead Onlyの保存領域です。
各ファイルの編集は行えず、部品の場合は配置のみが行えます。

クライアント(一般ユーザー様)は、こちらに「Part Lib(Master).qdb」を設定してください。

「編集を許可する」を有効とした場合は、オブジェクトの追加/削除/編集を行うことが可能です。

Innovative EDA solutions Quadcept

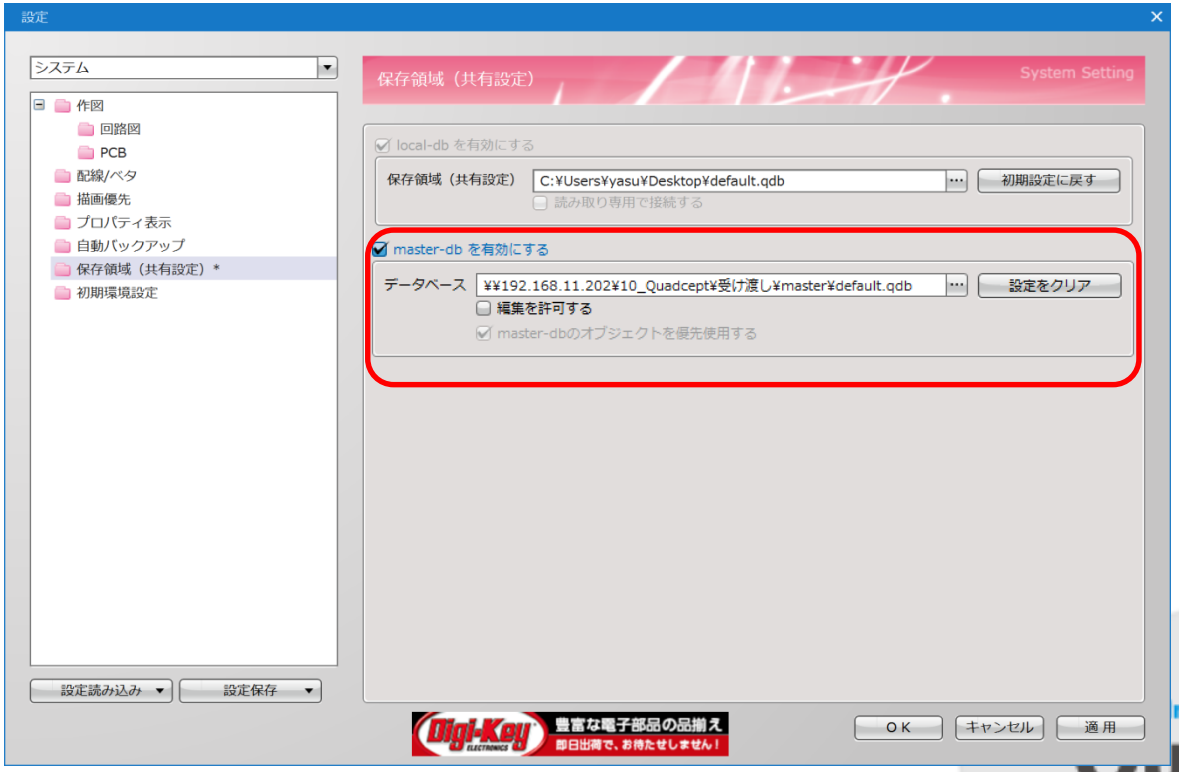
Copyright Quadcept Inc. All Rights Reserved.

■一般ユーザの設定について

一般ユーザは、master-dbを有効にするにチェックを入れて、「Part Lib(Master).qdb」を設定してください。

「master-db」：

データ参照用のRead Onlyの保存領域です。
各ファイルの編集は行えず、部品の場合は配置のみが行えます。

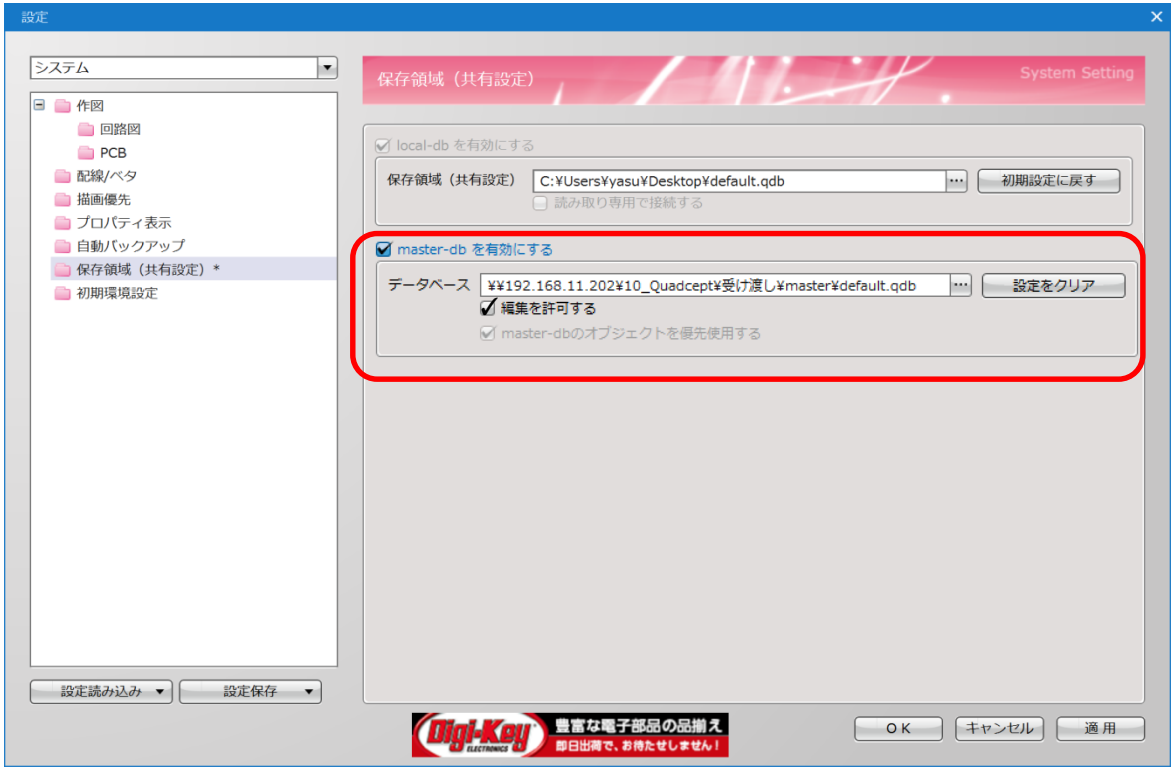


Copyright Quadcept Inc. All Rights Reserved.

■管理者ユーザの設定について

管理者ユーザは、master-dbを有効にするにチェックを入れて、 「編集を許可する」を有効にして、「Part Lib(Master).qdb」を設定してください。

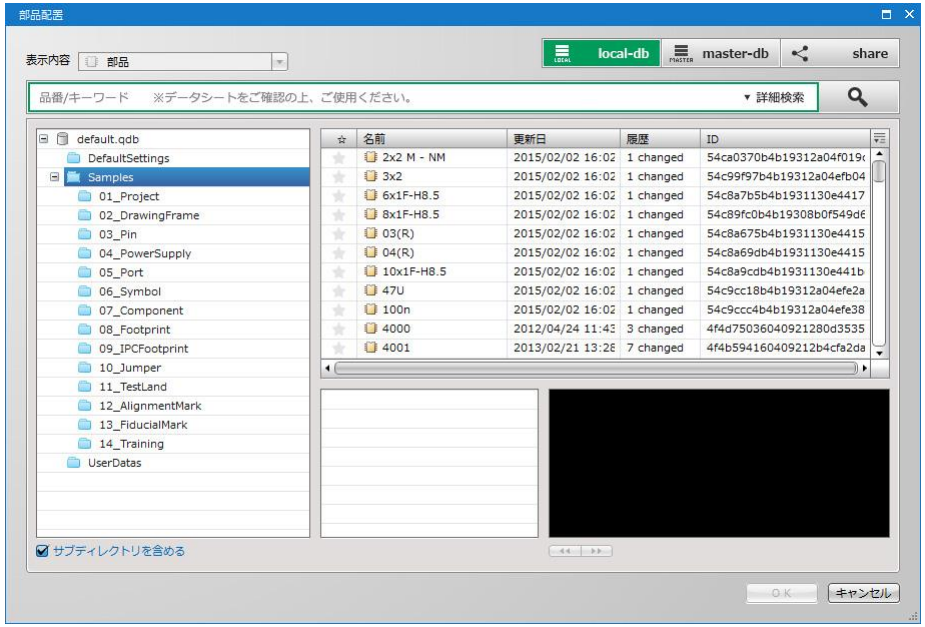
「master-db」：
「編集を許可する」を有効とした場合は、オブジェクトの追加/削除/編集を行うことが可能です。

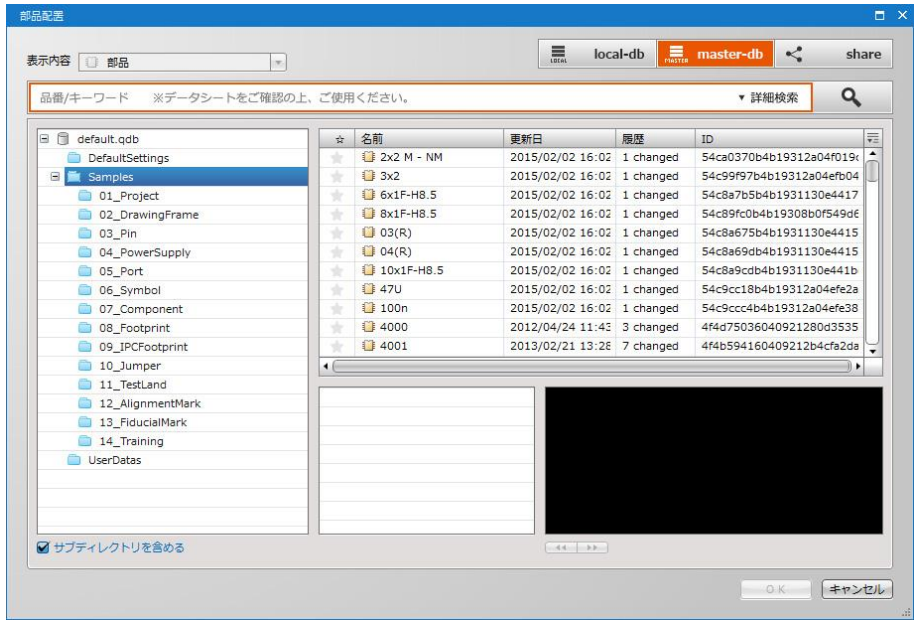


Quadcept　2－2．保存領域（共有設定）について(5/5)

Copyright Quadcept Inc. All Rights Reserved.

オブジェクトの「開く」ダイアログや「部品配置」ダイアログを開いた場合
それぞれ以下のように表示されます。





local-db

master-db

Quadcept　2－3．保存領域（共有設定）の変更(1/6)

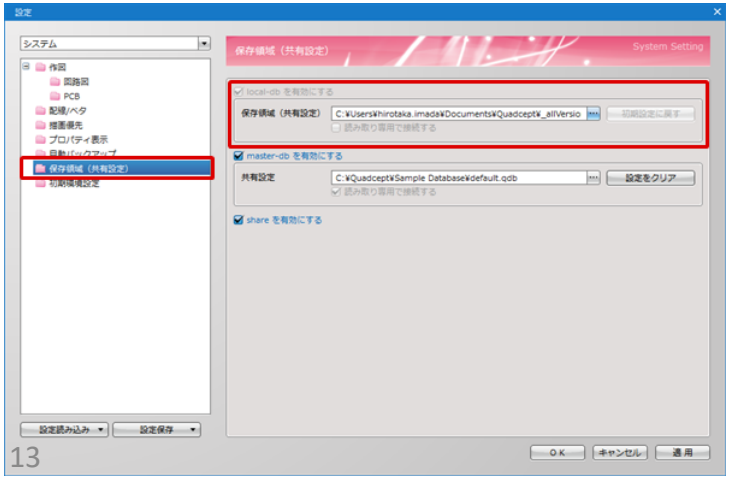
Copyright Quadcept Inc. All Rights Reserved.

■ **「local-db」の変更方法**

「local-db」を変更する方法をご紹介します。

- クライアント(一般ユーザー様)は、こちらに「Part Lib(Work Space).qdb」を設定してください。
- 部品ファイルの追加/削除を行う必要がある部品データベースの管理者様は、以下の操作にて「local-db」に「Part Lib(Master).qdb」を登録してください。

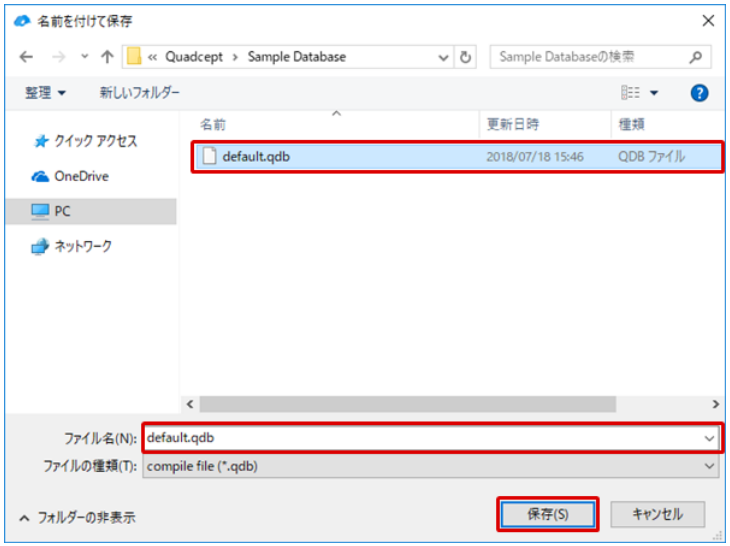
(1)【各種設定】→【環境設定】を選択



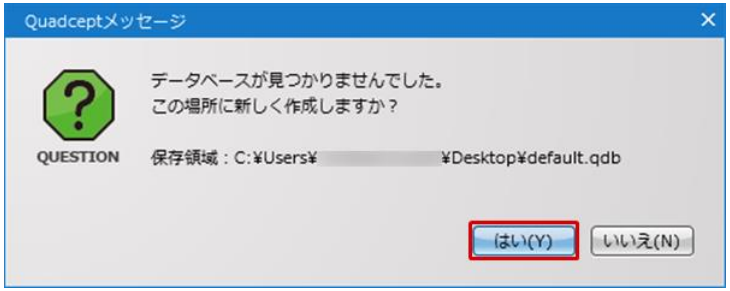
(2)左側のツリーから 「保存領域（共有設定）」を開き、保存領域（共有設定）の「…」ボタンをクリック

Quadcept　2－3．保存領域（共有設定）の変更(2/6)

Copyright Quadcept Inc. All Rights Reserved.



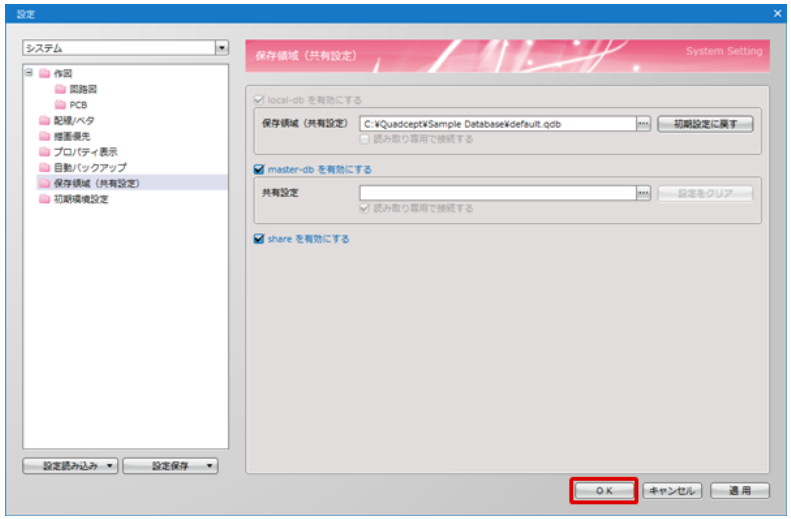
(3)*.qdbファイルを選択し、「保存」をクリック



QDBファイルが存在しない場合は、
新規に作成されます。

Quadcept　2－3．保存領域（共有設定）の変更(3/6)

Copyright Quadcept Inc. All Rights Reserved.



(4) 「OK」をクリック

⇒選択したQDBが保存の領域となります。

Quadcept　2－3．保存領域（共有設定）の変更(4/6)

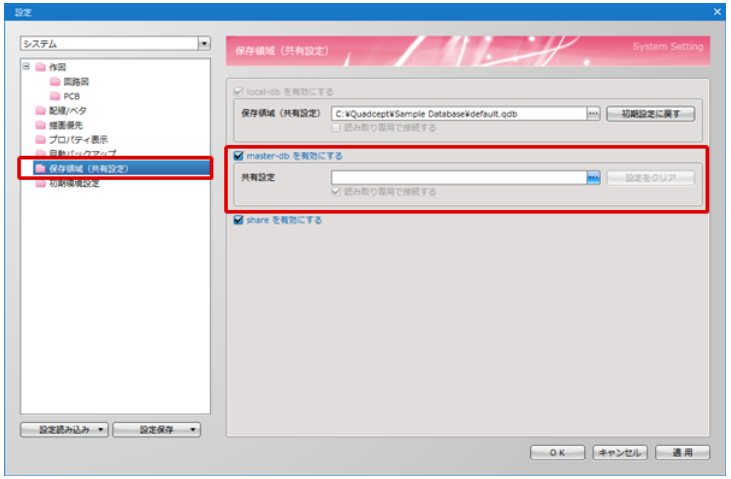
Copyright Quadcept Inc. All Rights Reserved.

■ 「master-db」の変更方法

「master-db」を変更する方法をご紹介します。

クライアント(一般ユーザー様)は、こちらに「Part Lib(Master).qdb」を設定してください。

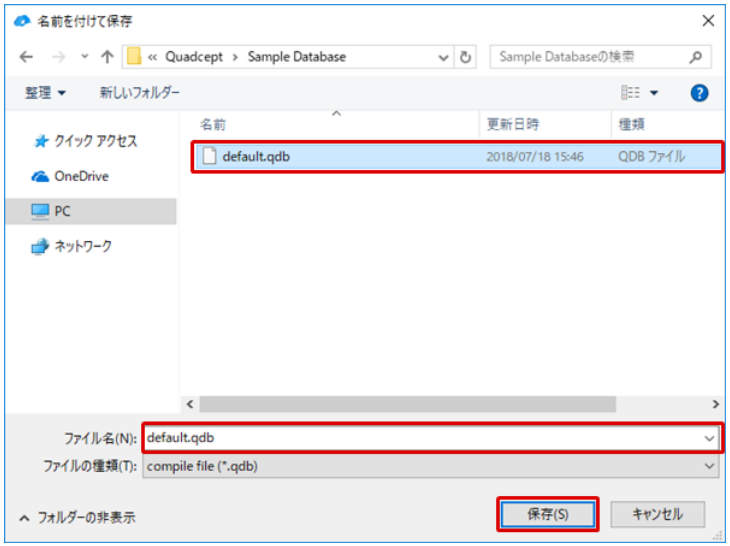
(1)【各種設定】→【環境設定】を選択



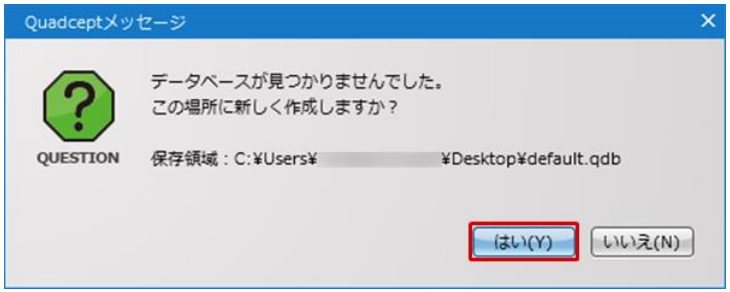
(2)左側のツリーから 「保存領域（共有設定）」を開き、
共有設定の「…」ボタンをクリック

Quadcept　2－3．保存領域（共有設定）の変更(5/6)

Copyright Quadcept Inc. All Rights Reserved.



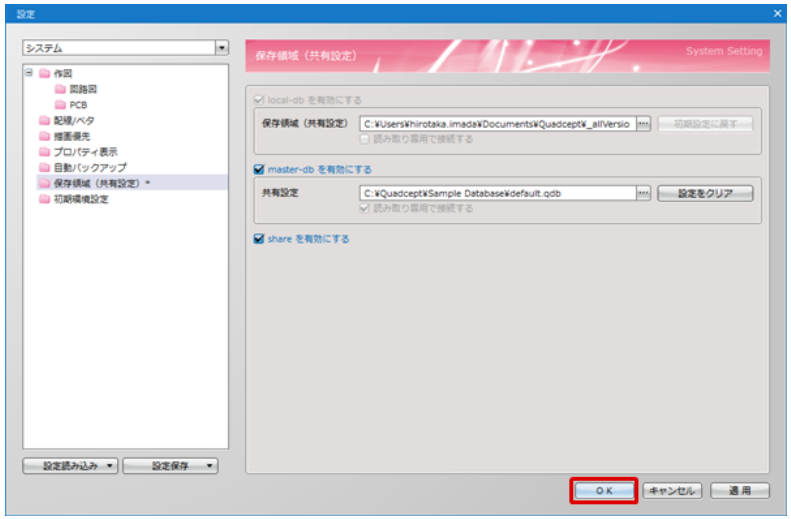
(3)*.qdbファイルを選択し、「保存」をクリック



QDBファイルが存在しない場合は、
新規に作成されます。

Quadcept　2－3．保存領域（共有設定）の変更(6/6)

Copyright Quadcept Inc. All Rights Reserved.



(4) 「OK」をクリック

⇒選択したQDBが保存の領域となります。

2－4. share部品の保存(1/4)

Copyright Quadcept Inc. All Rights Reserved.

弊社がクラウドサーバー上にご提供しております共有部品ライブラリ「share」から
ローカルのデータベースへ部品を保存する方法をご紹介します。

保存の方法としましては以下の2通りの方法がございます。

- メニュー「共有オブジェクト」から保存する方法
- share部品を開き「別名保存」する方法

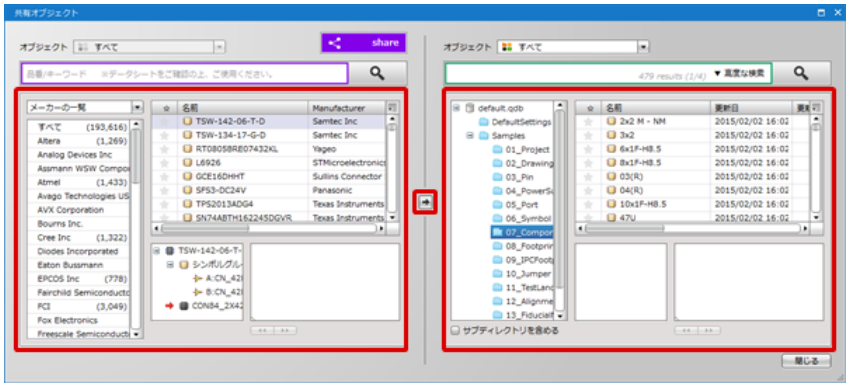
Innovative EDA solutions Quadcept

Quadcept　2－4．share部品の保存(2/4)

Copyright Quadcept Inc. All Rights Reserved.

■メニュー「共有オブジェクト」から保存する方法

(1)【ファイル】→【入力】→【共有オブジェクト】を選択

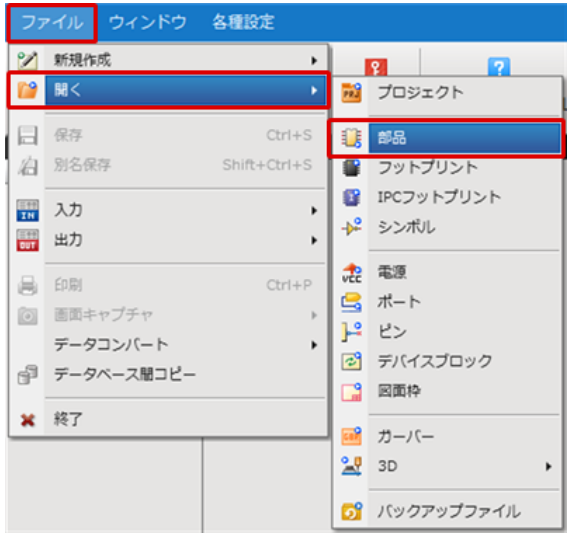


(2)左側(shareライブラリ)から入力したいオブジェクトを選択し、右側(データベース)の任意ディレクトリを指定して「→」をクリック

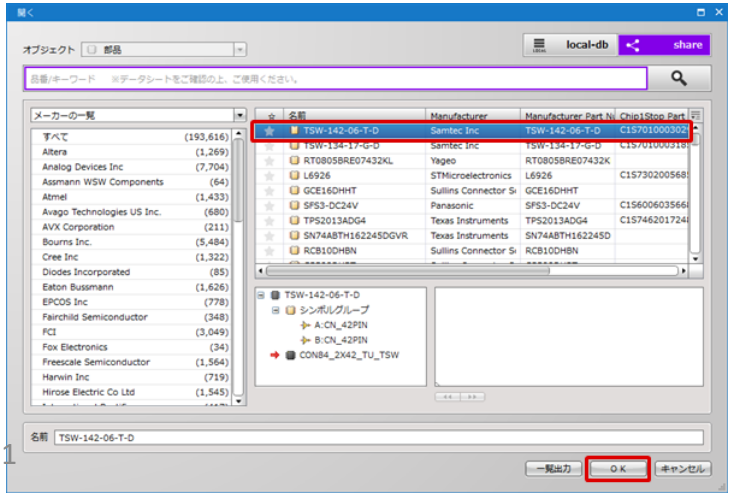
⇒選択したオブジェクトがダウンロードされます。

Copyright Quadcept Inc. All Rights Reserved.

■share部品を開き「別名保存」する方法



(1)【ファイル】→【開く】→【部品】を選択

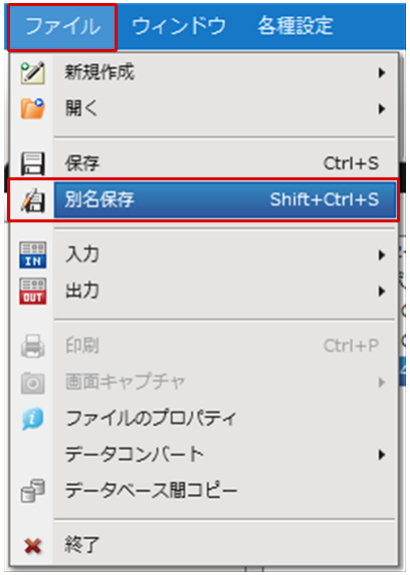


(2)「開く」ダイアログからダウンロードしたい部品を選択し、「OK」をクリック

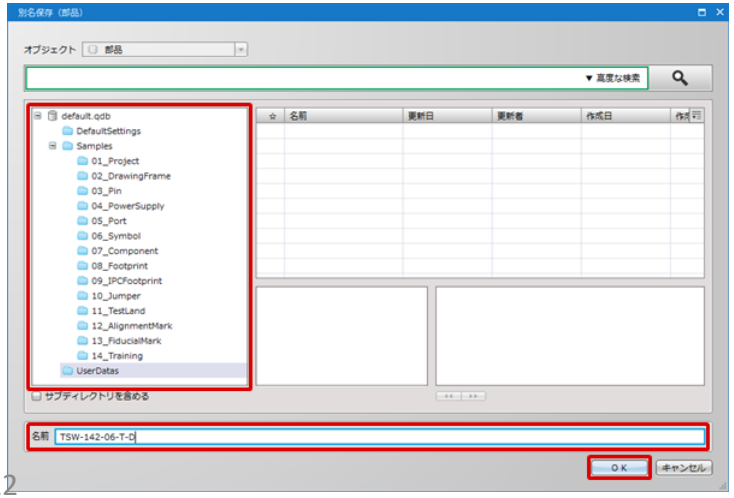
Innovative EDA solutions Quadcept

Quadcept　2－4．share部品の保存(4/4)

Copyright Quadcept Inc. All Rights Reserved.



(3)【ファイル】→【別名保存】を選択



(4)任意のディレクトリを選択し、ファイル名を入力後、「OK」をクリック

⇒選択したオブジェクトがローカルに保存されます。

3－1. プロジェクトについて(1/3)

Copyright Quadcept Inc. All Rights Reserved.

「プロジェクト」とは、回路図やPCBなど各種設計図面を管理するためのファイルです。

Quadceptの設計図面は必ず「プロジェクト」という親を持ちます。プロジェクトに格納された回路図とPCBは対となり、差分の抽出や設計内容の転送を行うことができます。また、プロジェクトに関連したファイル(ネットリストや部品表等)を格納することもでき、設計データの一元管理が可能です。

■プロジェクトでできること

1. 複数枚になる回路図やPCBデータの管理（ネットリスト出力）
2. 回路図とPCBの連携（差分抽出、フォアードアノテーション、バックアノテーション）
3. プロジェクトに関連するファイルを格納（ネットリスト、部品表、ガーバーファイルなど）
4. プロジェクト毎のファイル管理、印刷
5. 新旧回路図、PCB図面の差分抽出
6. ライブラリキャッシュ

Innovative EDA solutions Quadcept

3－1. プロジェクトについて(2/3)

Copyright Quadcept Inc. All Rights Reserved.

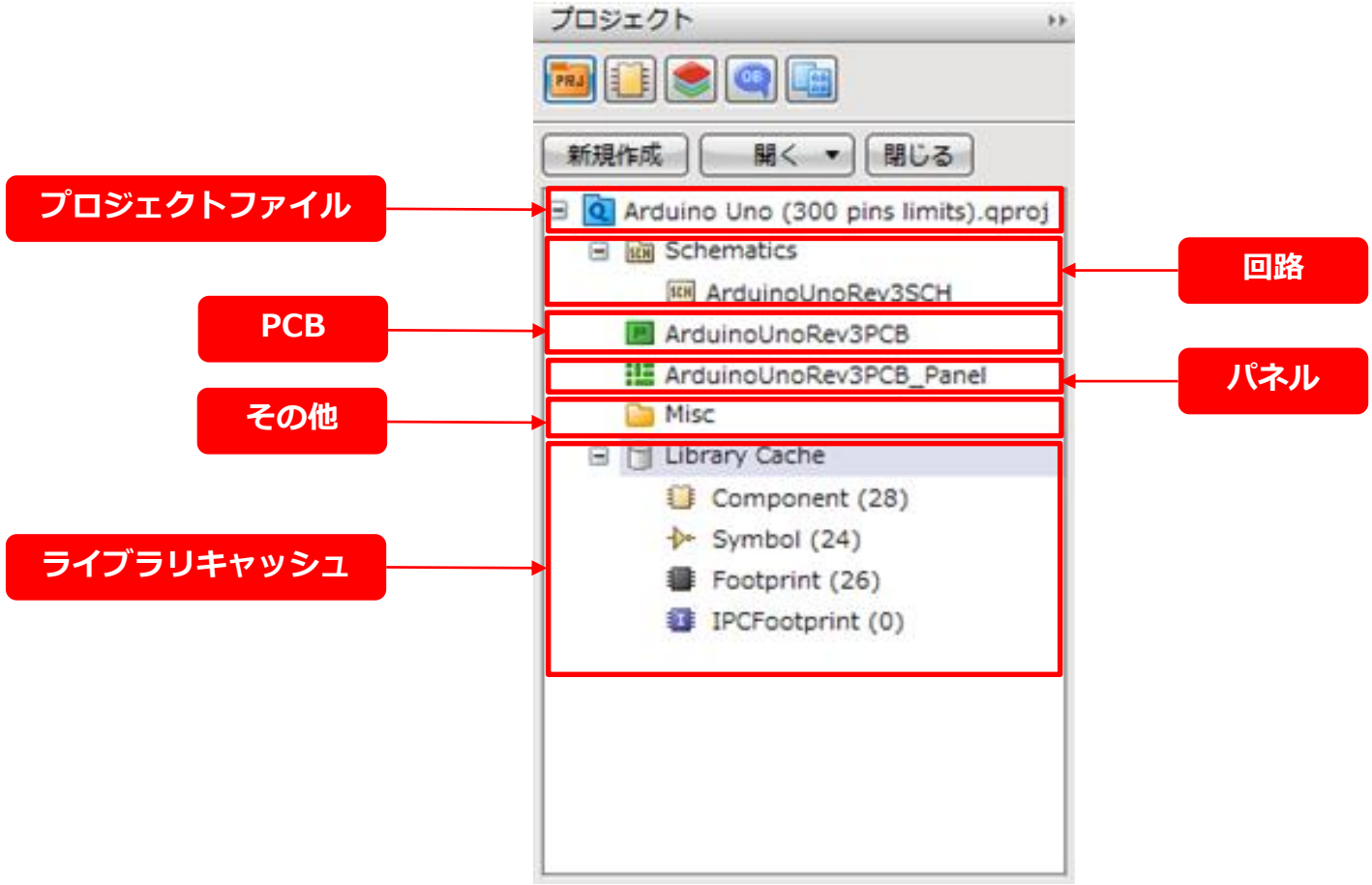
■ファイル化に伴う変更点について

- プロジェクトがファイルでの管理となりました。(拡張子：*.qproj)
- 「プロジェクトウィンドウ」の構成を変更しました。(ツリービュー、メニュー)
- プロジェクトファイルに対する各操作方法が変更となりました。
  (新規作成方法、開き方、閉じ方 etc.)
- プロジェクトファイル保存時の動作を見直しました。
- リンクオブジェクトの抽出方法が変更となりました。
- パネル配置・更新の処理を変更しました。
- ファイルロックの機能を追加しました。
- プロジェクトファイル(*.qproj)をダブルクリックすることで
  アプリケーションが起動するよう変更を行いました。

Innovative EDA solutions Quadcept

Copyright Quadcept Inc. All Rights Reserved.

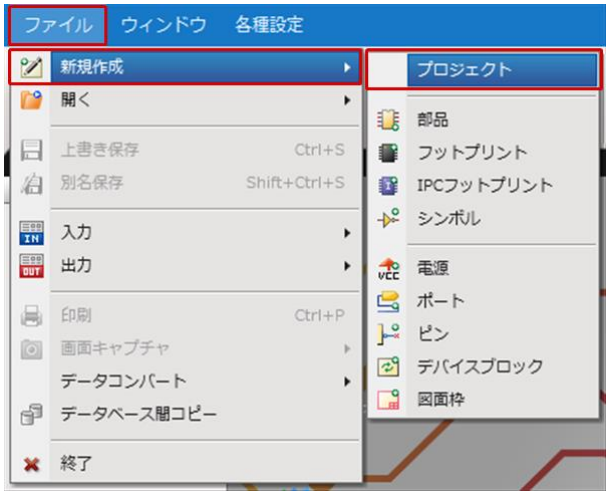
■プロジェクト画面の構成



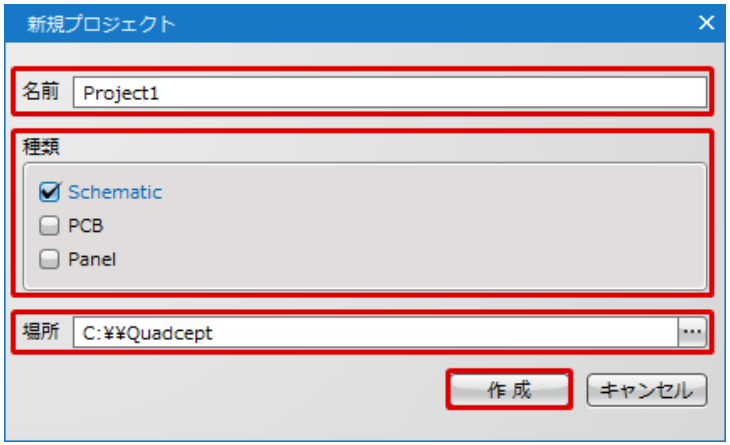
Quadcept 3－2. プロジェクトの新規作成(1/2)

Copyright Quadcept Inc. All Rights Reserved.

プロジェクトファイルを新規に作成する方法をご紹介します。



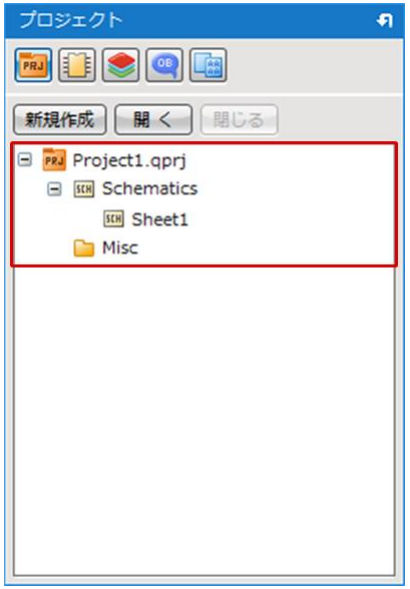
(1)【ファイル】→【新規作成】→【プロジェクト】を選択



(2)「名前」にてプロジェクト名を入力
(3)「種類」にて作成したいシート種類を選択
　「Schematic」：回路図シートが作成されます。
　「PCB」　　：PCBシートが作成されます。
　「Panel」　　：パネルシートが作成されます。
(4)「場所」にてプロジェクトの保存先を選択
(5)各種設定後、「作成」をクリック

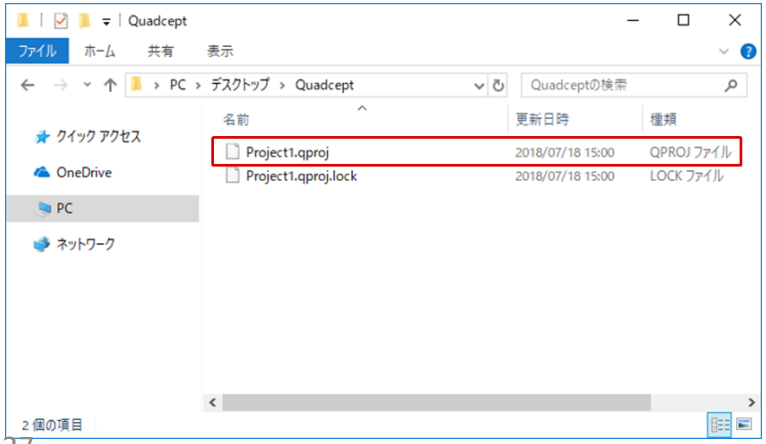
Quadcept 3－2. プロジェクトの新規作成(2/2)

Copyright Quadcept Inc. All Rights Reserved.



「プロジェクトウィンドウ」上にプロジェクトが表示され、指定したディレクトリにプロジェクトファイル(*.qproj)が作成されます。

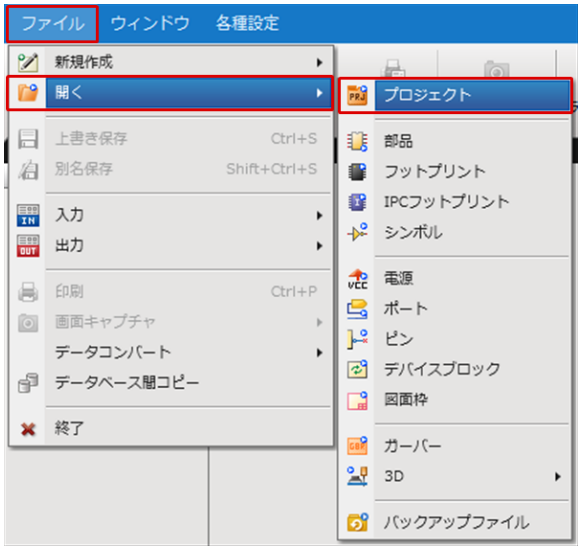
その他、「プロジェクトウィンドウ」上の「新規作成」ボタン、「プロジェクトウィンドウ」上で右クリックした際に表示されるメニュー「新規プロジェクト」からもプロジェクトの作成を行うことが可能です。



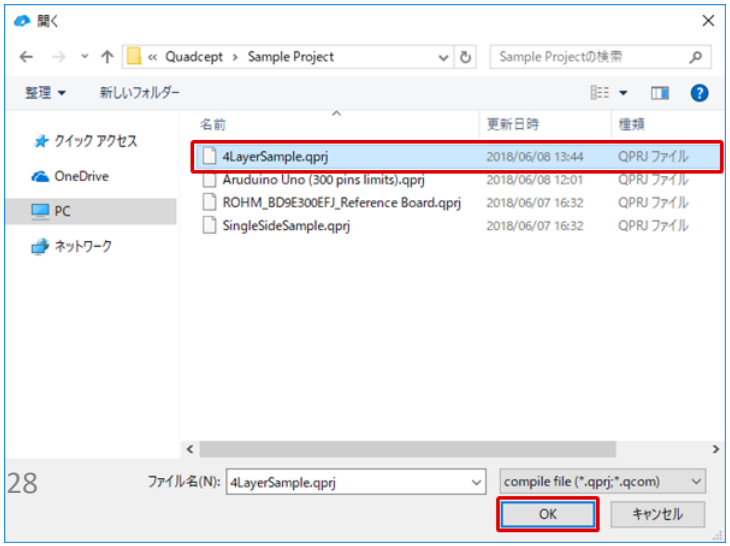
Quadcept 3－3. プロジェクトを開く(1/2)

Copyright Quadcept Inc. All Rights Reserved.

既存のプロジェクトファイルを開く方法をご紹介します。



(1)【ファイル】→【開く】→【プロジェクト】をクリック

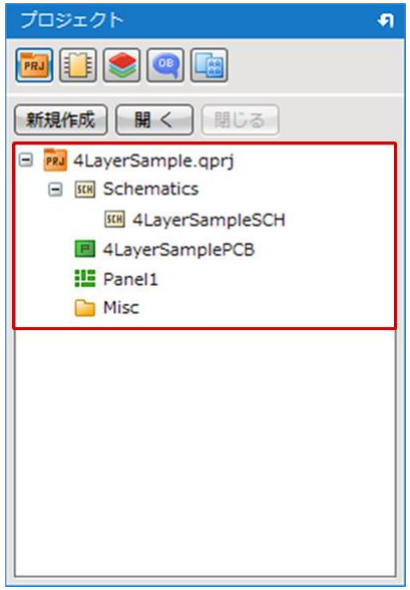


(2)開きたいプロジェクトファイル(*.qproj)を
選択し、「OK」をクリック

Innovative EDA solutions Quadcept

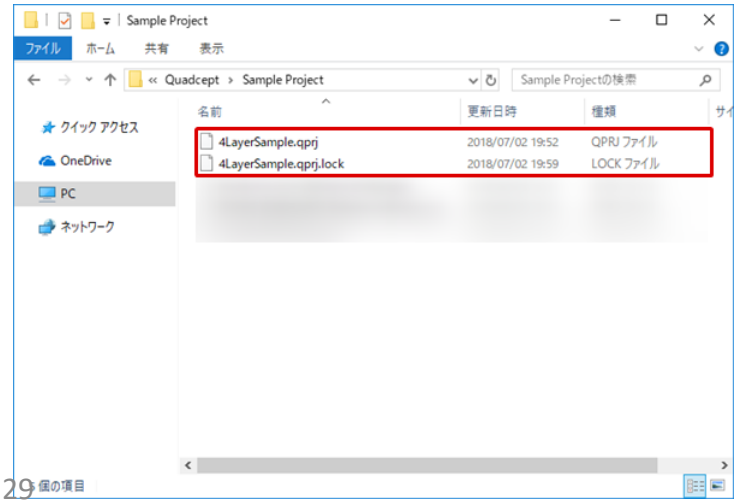
Quadcept 3－3. プロジェクトを開く(2/2)

Copyright Quadcept Inc. All Rights Reserved.



「プロジェクトウィンドウ」上にプロジェクトが表示されます。

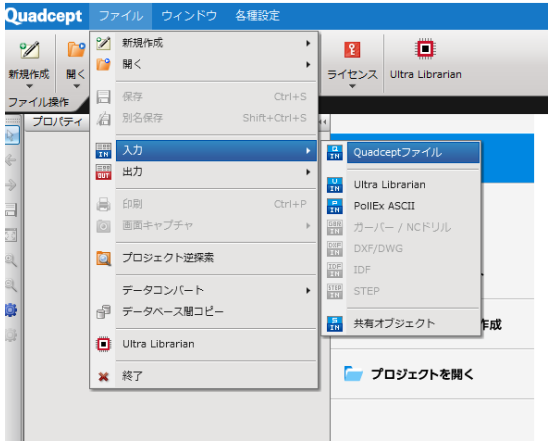
その他、「プロジェクトウィンドウ」上の「開く」ボタン、「プロジェクトウィンドウ」上で右クリックした際に表示されるメニュー「プロジェクトを開く」からもプロジェクトの呼び出しを行うことが可能です。

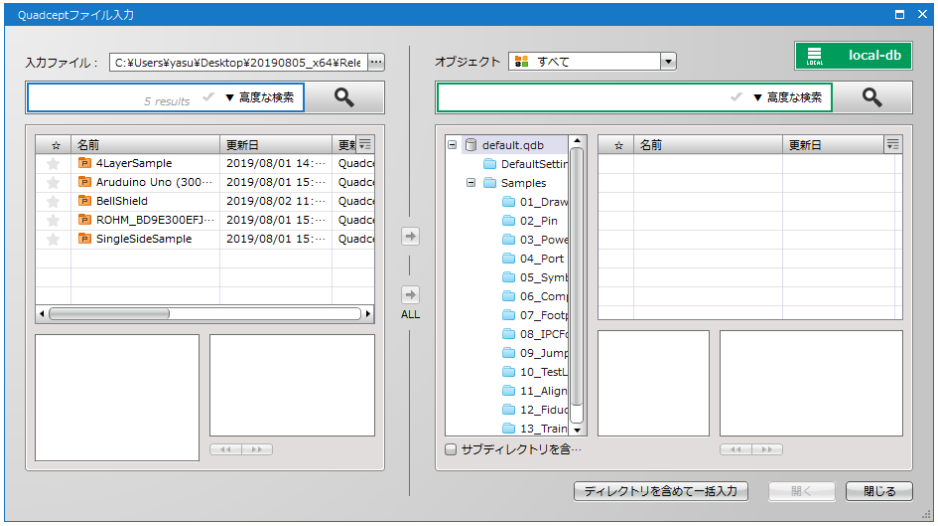


プロジェクトを開くとプロジェクトと同名の「*.lock」ファイルが生成され、プロジェクトがロックされます。「*.lock」ファイルが存在している間は、他ユーザーが該当のプロジェクトを編集することはできません。「*.lock」ファイルはプロジェクトを閉じることで自動的に削除されます。

Quadcept 参考）．旧プロジェクト（Quadceptファイル）を開く

Copyright Quadcept Inc. All Rights Reserved.



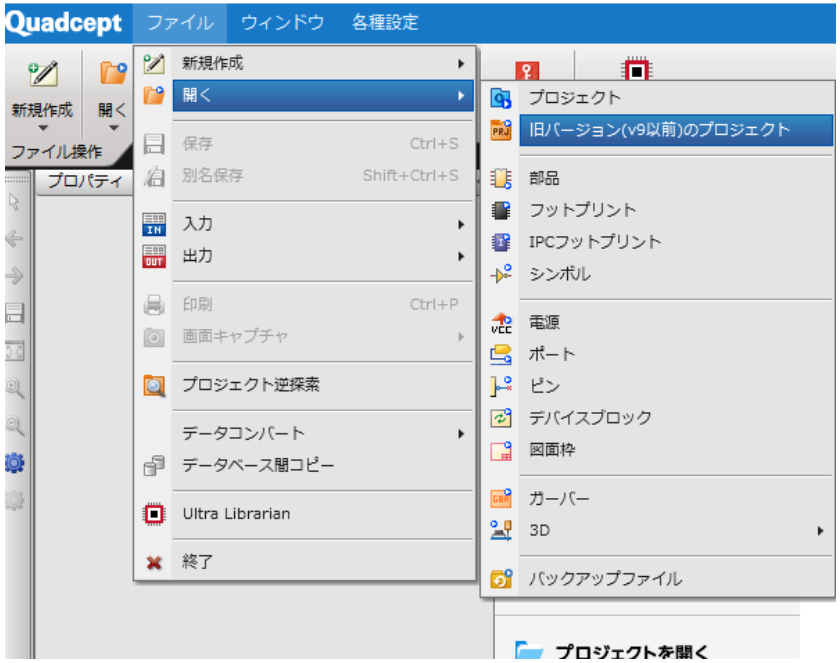


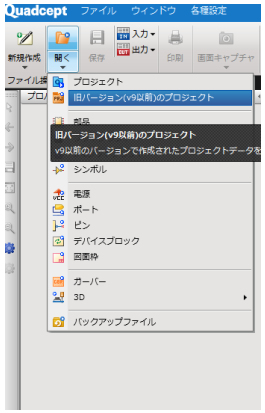
プロジェクトファイルとしてQuadceptファイル(*.qcom)を指定することも可能となっており、*.qcomファイル内に複数のプロジェクトが存在する場合は、プロジェクトの選択画面が表示されます。

左記画面が表示された場合は、開きたいプロジェクトを選択し、保存を行ってください。

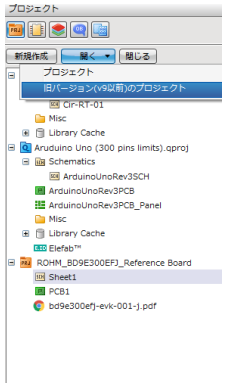
Quadcept 参考）．旧プロジェクト（Quadceptファイル）を開く

Copyright Quadcept Inc. All Rights Reserved.





リボンメニュー



プロジェクトウィンドウ

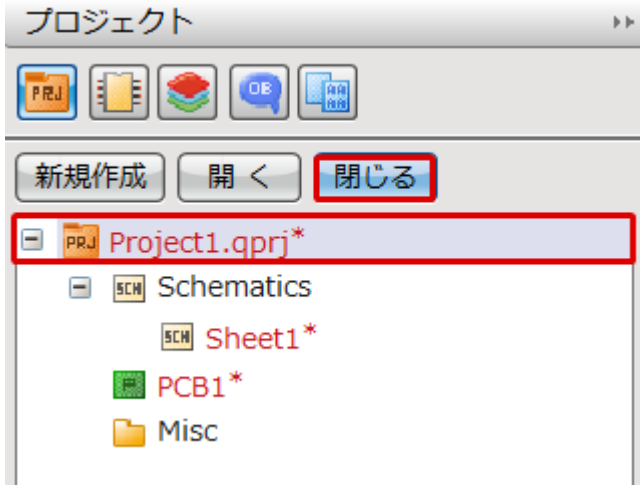
保存したプロジェクトファイルは、
【ファイル】→【開く】→【旧バージョン(V9以前)のプロジェクト】を
クリックして、開くことができます。

リボンメニュー、もしくは、プロジェクトウィンドウの
【開く】→【旧バージョン（V9以前）のプロジェクト】
でも開くことができます。

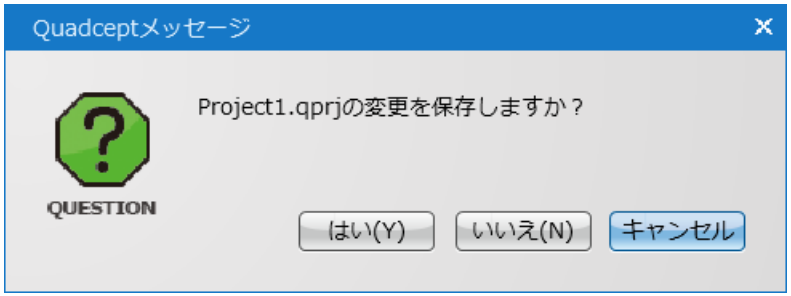
Quadcept 3－4. プロジェクトを閉じる

Copyright Quadcept Inc. All Rights Reserved.

プロジェクトを閉じる方法をご紹介します。



(1)プロジェクトウィンドウ上で
　閉じたいプロジェクトを選択
(2)【閉じる】をクリック



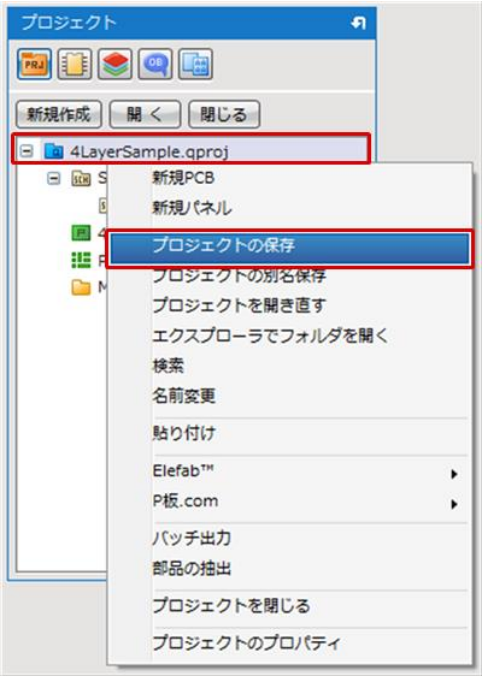
※編集中の回路図やPCBがある場合、
　保存確認のメッセージが表示されます。

　保存する場合は、「はい」
　保存しない場合は、「いいえ」
　ファイルを閉じる操作をキャンセルする場合は、
「キャンセル」を選択してください。

Quadcept 3－5. プロジェクトの保存(1/2)

Copyright Quadcept Inc. All Rights Reserved.

プロジェクトを保存する方法をご紹介します。



(1)プロジェクトを選択
(2)右クリック→【プロジェクトの保存】をクリック
　⇒プロジェクト内の全てのファイルが保存されます。

3－5. プロジェクトの保存(2/2)

Copyright Quadcept Inc. All Rights Reserved.

■保存操作で保存されるもの

	プロジェクト保存	回路図シート保存	PCBシート保存	その他ファイル保存
プロジェクトのツリー構造	保存			
プロジェクト名の変更・ シート名の変更	保存			
プロジェクト設定	保存			
回路図設定	保存			
回路図シート	保存	保存		
PCB設定 DRC/MRC設定	保存		保存	
ERC/DRC/MRC結果	保存			
PCBシート	保存		保存	
その他ファイル	保存			保存

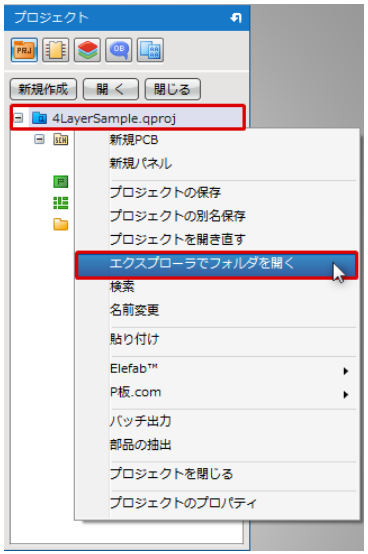
プロジェクト全体の保存は「プロジェクトの保存」を行ってください。

Innovative EDA solutions Quadcept

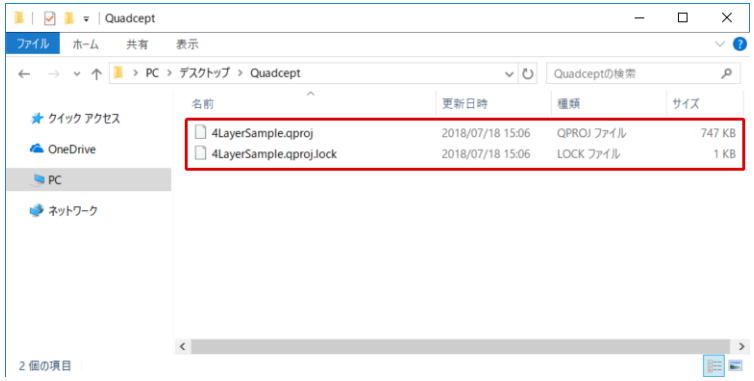
Quadcept 3－6. プロジェクトファイルの保存先を開く

Copyright Quadcept Inc. All Rights Reserved.

プロジェクトファイルが存在するディレクトリを開く方法をご紹介します。



(1)プロジェクトウィンドウ上でプロジェクトを選択
(2)右クリックメニューから
　【エクスプローラでフォルダを開く】を選択

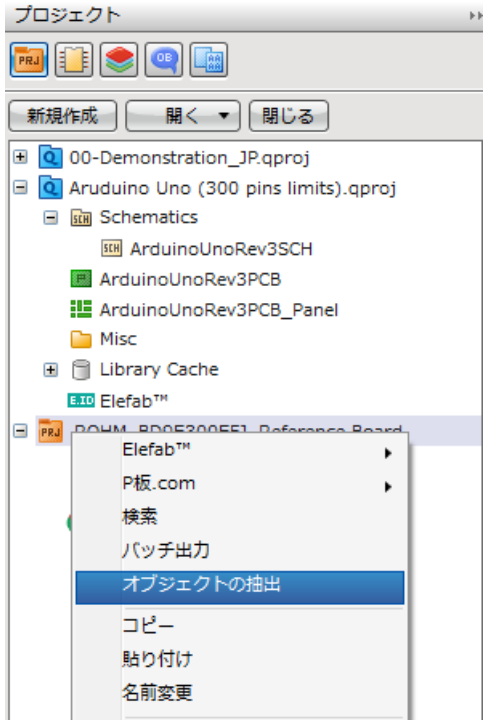


プロジェクトファイルの存在するディレクトリが開きます。

Quadcept 3－7. オブジェクトの抽出(1/2)

Copyright Quadcept Inc. All Rights Reserved.

設計シート内で使用されているオブジェクト(部品/シンボル/フットプリント)を出力する方法をご紹介します。

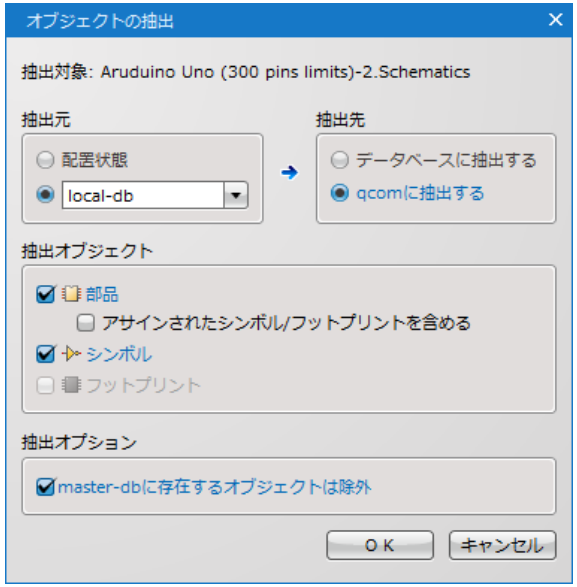


(1)オブジェクトを出力したい設計シートを選択
※回路図シートからリンクオブジェクトを抽出する場合は、ルートのフォルダ(Schematics)を選択してください。
(2)右クリックメニューから【オブジェクト抽出】を選択

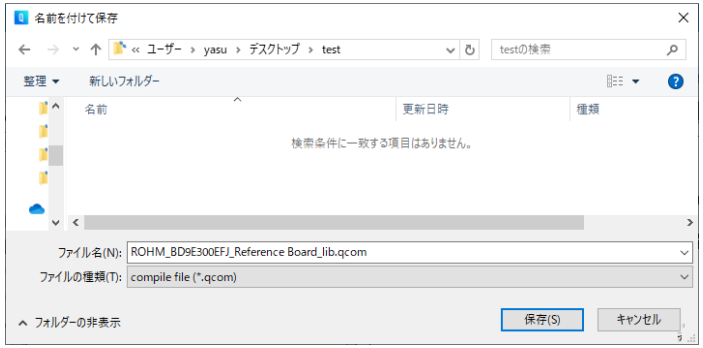
部品を複数選択して抽出することも可能です。

Quadcept 3－7. オブジェクトの抽出(2/2)

Copyright Quadcept Inc. All Rights Reserved.



(3)抽出する「抽出元」と保存する「抽出先」を選択、抽出するオブジェクトを「部品」「シンボル」「フットプリント」から必要であれば「抽出オプション」を設定

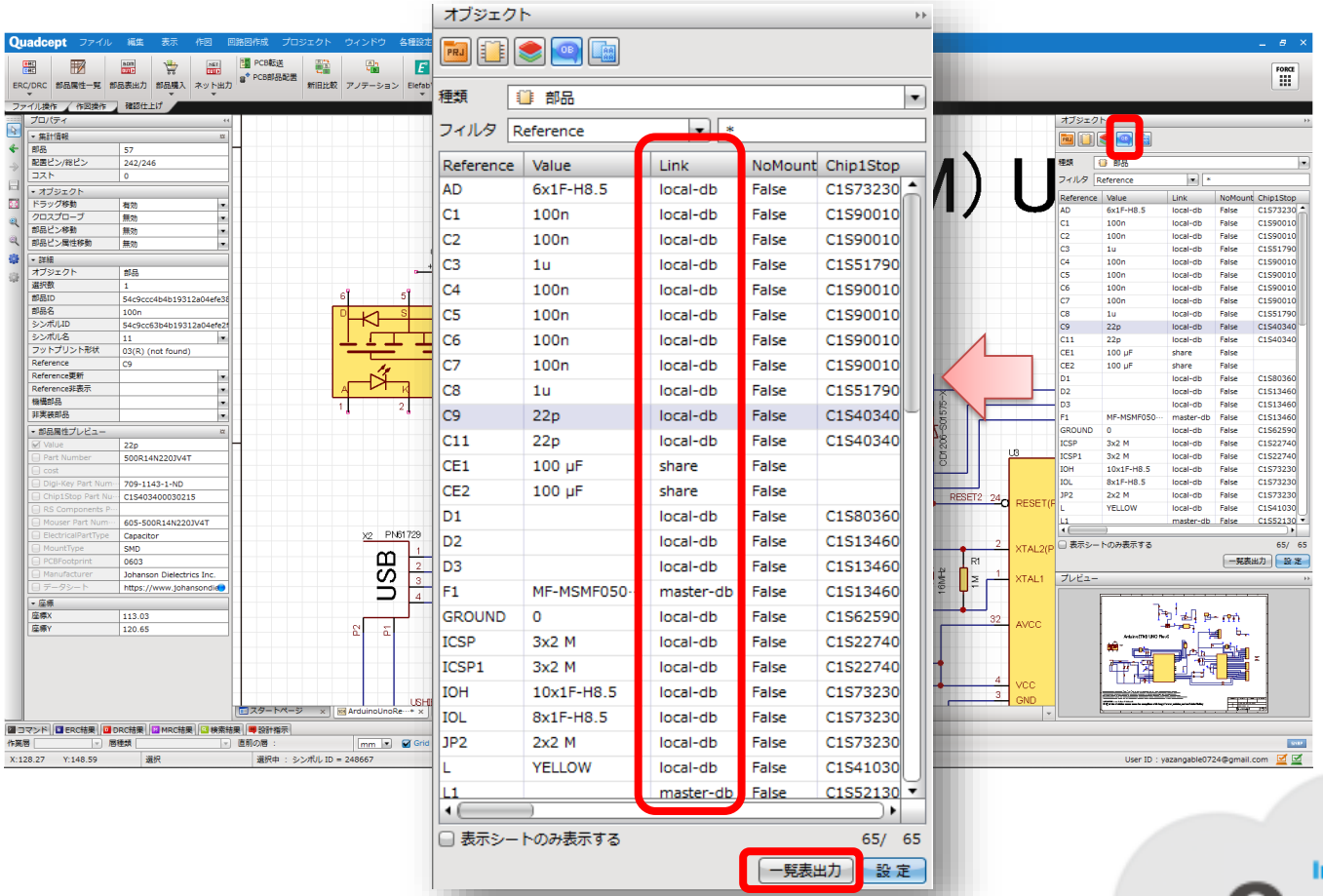


(4)Qcomファイルを選択した場合、保存先を選択後、任意のファイル名を入力し保存」をクリック
⇒オブジェクトがqcomファイルで出力されます。

Quadcept 3－8. オブジェクトのLink先を表示する

Copyright Quadcept Inc. All Rights Reserved.

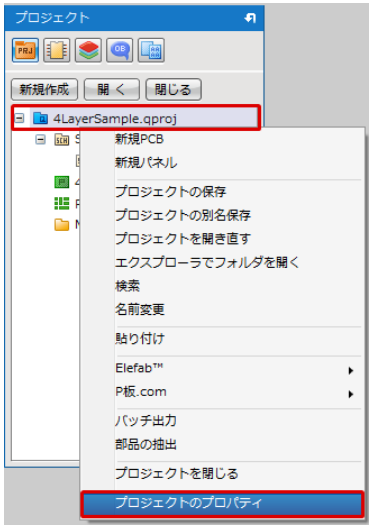
サブウィンドウ「オブジェクト」→「Link」の項目に、Local-db、master-db、shareなど部品のLink先が表示されています。一覧表をCSV出力することもできます。



Quadcept 3－9. プロジェクトファイルのプロパティを表示する

Copyright Quadcept Inc. All Rights Reserved.

プロジェクトファイルのプロパティ画面を開く方法をご紹介します。



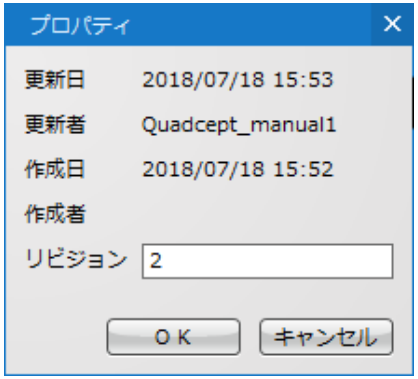
(1)プロジェクトウィンドウにてプロジェクトを選択後、
右クリックから【プロジェクトのプロパティ】を選択

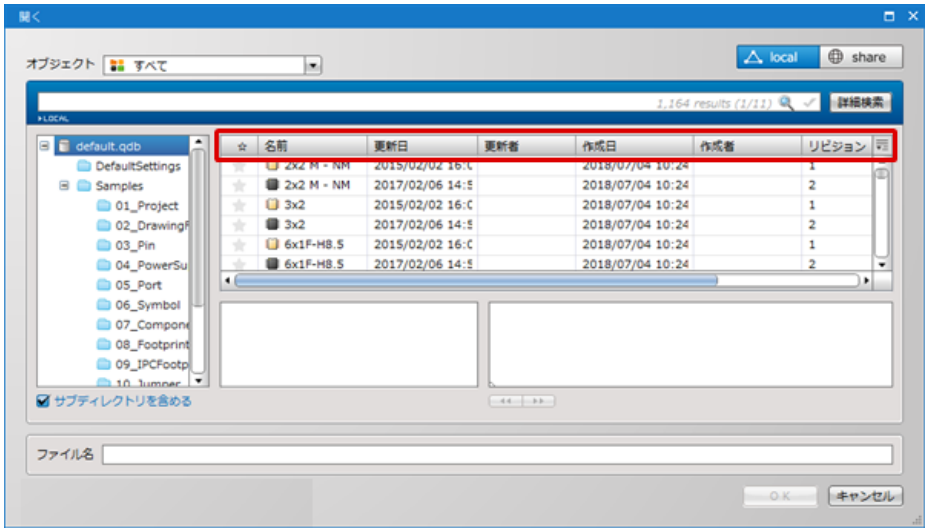
対象プロジェクトのプロパティが表示されます。

Quadcept 4. 更新者・作成者・リビジョン情報の表示機能について(1/3)

Copyright Quadcept Inc. All Rights Reserved.

新バージョンからは各オブジェクトにおいて「作成日」「更新日」に加え、
「更新者」「作成者」「リビジョン」の確認ができるようになりました。
各情報は各オブジェクトの編集シートや「開く」ウィンドウ等で確認することが可能です。

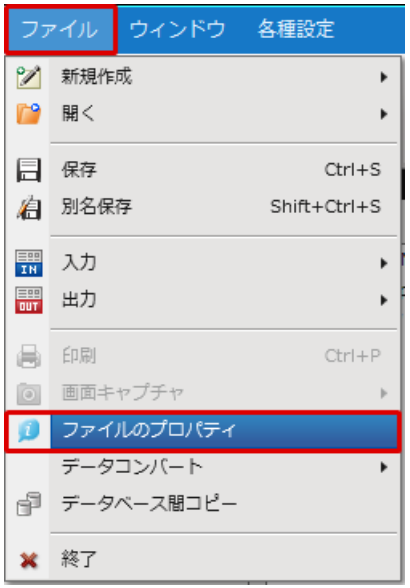




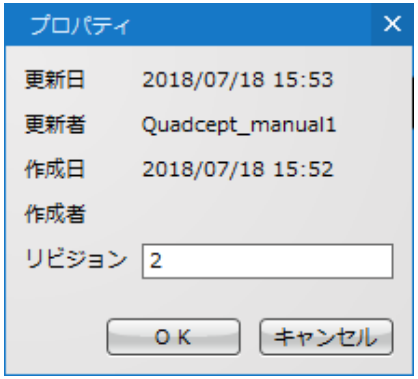
Quadcept　4. 更新者・作成者・リビジョン情報の表示機能について(2/3)

Copyright Quadcept Inc. All Rights Reserved.

各オブジェクトの編集シートにて、各種情報を表示する方法をご紹介します。



(1) 各オブジェクトの編集シートを開いた状態で、
【ファイル】→【ファイルのプロパティ】を選択



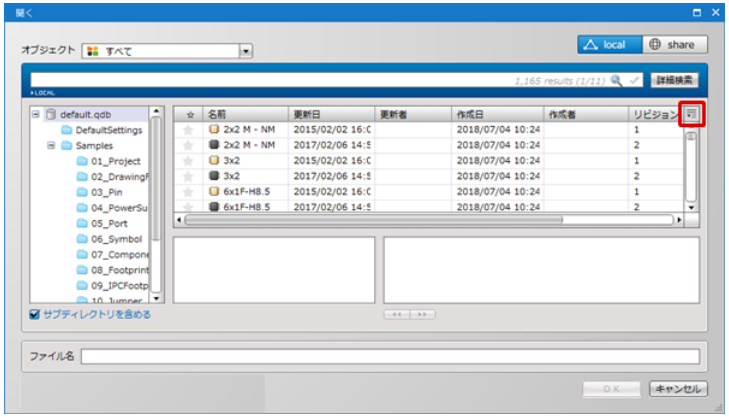
「プロパティ」画面が開き、
「更新日」「更新者」「作成日」「作成者」
「リビジョン」を確認できます。

「リビジョン」は保存のタイミングで
インクリメントされます。
また、必要に応じて編集することも可能です。

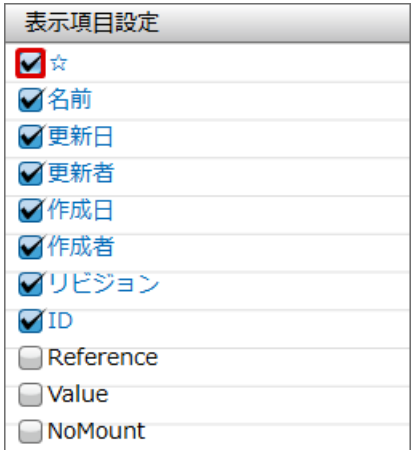
Quadcept 4. 更新者・作成者・リビジョン情報の表示機能について(3/3)

Copyright Quadcept Inc. All Rights Reserved.

「開く」ダイアログや「部品配置」ダイアログにて、「更新者」「作成者」「リビジョン」情報の表示/非表示を切り替える方法をご紹介いたします。



(1)ダイアログ右上 をクリック



(2)表示項目設定が表示されます。
表示させたい項目の□をクリック。

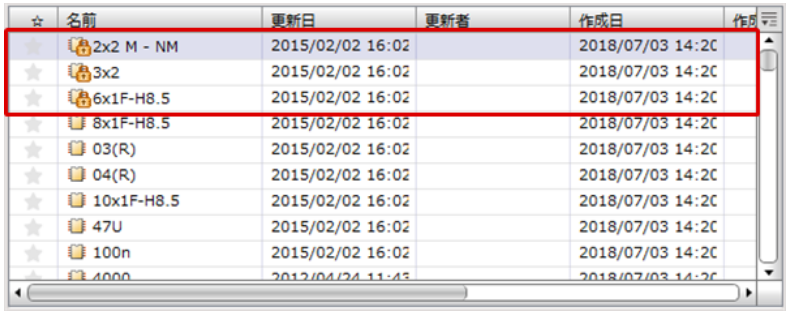
表示する場合は、☑
表示しない場合は、□　になります。

「更新日」「更新者」「作成日」「作成者」
「リビジョン」はデフォルトで表示となっております。

Quadcept 5. ファイルロック機能について(1/2)

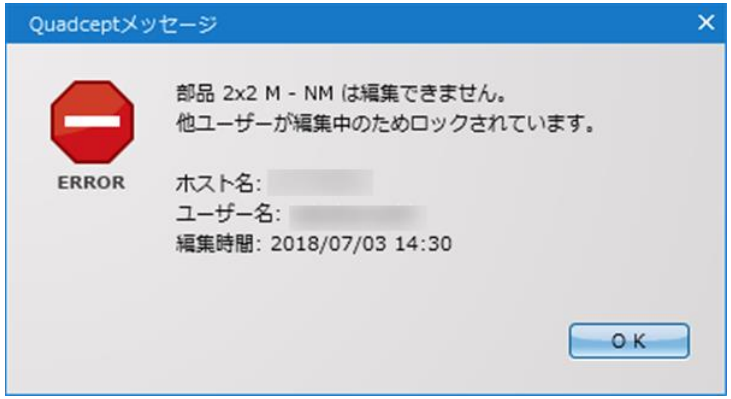
Copyright Quadcept Inc. All Rights Reserved.

ユーザーが編集中のファイルにはロックマークが表示され、ファイルの編集が制限されます。
他ユーザーによる意図しない上書きや編集の競合を防ぐことが可能です。



名前	更新日	更新者	作成日
2x2 M - NM	2015/02/02 16:02		2018/07/03 14:20
3x2	2015/02/02 16:02		2018/07/03 14:20
6x1F-H8.5	2015/02/02 16:02		2018/07/03 14:20
8x1F-H8.5	2015/02/02 16:02		2018/07/03 14:20
03(R)	2015/02/02 16:02		2018/07/03 14:20
04(R)	2015/02/02 16:02		2018/07/03 14:20
10x1F-H8.5	2015/02/02 16:02		2018/07/03 14:20
47U	2015/02/02 16:02		2018/07/03 14:20
100n	2015/02/02 16:02		2018/07/03 14:20

ユーザーが編集中のファイルには マークが表示され、
編集有無の状況が確認できます。

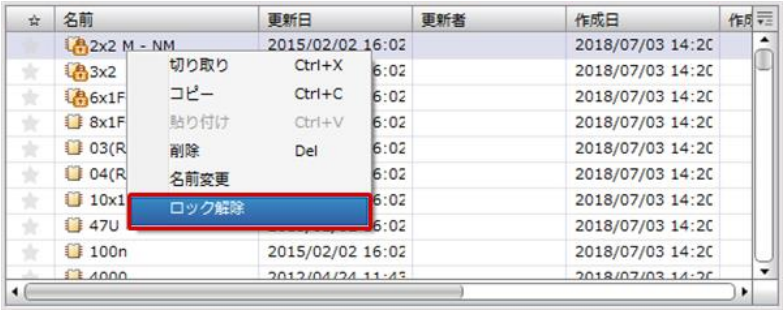


他ユーザーが編集中のファイルを開こうとした場合は
現在編集中のユーザー名が表示されます。

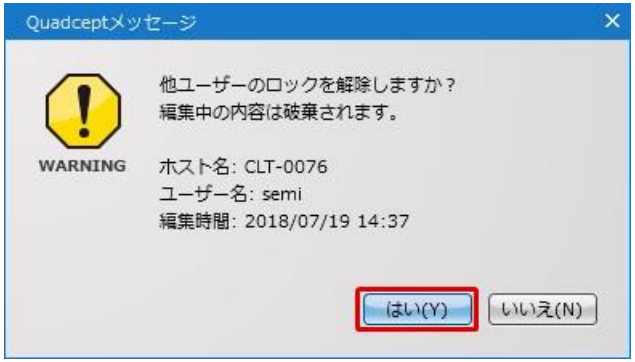
Quadcept 5. ファイルロック機能について(2/2)

Copyright Quadcept Inc. All Rights Reserved.

ロックの状態は以下の手順で解除することも可能です。



(1)ロックの掛かったオブジェクトを選択
(2)右クリックメニューから【ロック解除】を選択

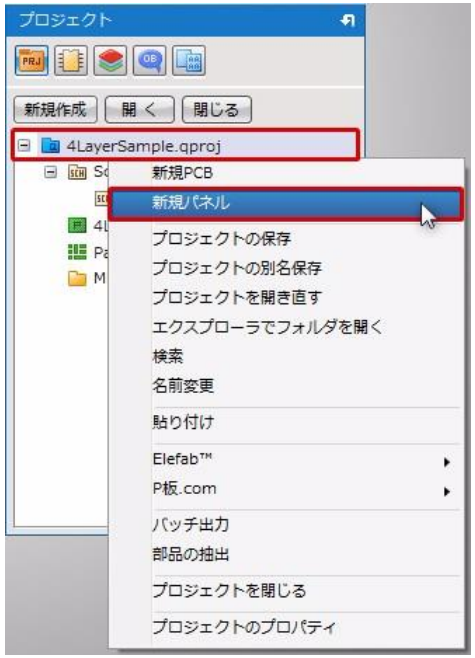


(3)確認メッセージに対し「はい」を選択
⇒選択したファイルのロックが解除されます。

Quadcept 6－1. パネルシートの作成

Copyright Quadcept Inc. All Rights Reserved.

Quadceptではパネルシートを使うことで、パネライズ（面付け）を行うことができます。同種基板、異種基板を複数面付けすることが可能です。ここではパネルシートの作成方法をご紹介します。



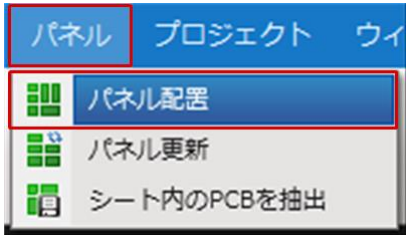
(1)プロジェクトウィンドウにてパネルシートを追加したいプロジェクトを選択
(2)右クリックメニューから【新規パネル】を選択
⇒プロジェクトにパネルシートが追加されます。

その他、
【ファイル】→【新規作成】→【プロジェクト】から新規パネルプロジェクトを作成することも可能です。

Quadcept　6－2. パネル配置(1/4)

Copyright Quadcept Inc. All Rights Reserved.

パネルシートに単基板を配置する方法をご紹介します。
個数や角度、間隔などの設定を行いPCB（パネル）を配置していきます。
この操作を繰り返すことで異種基板を面付けすることも可能です。



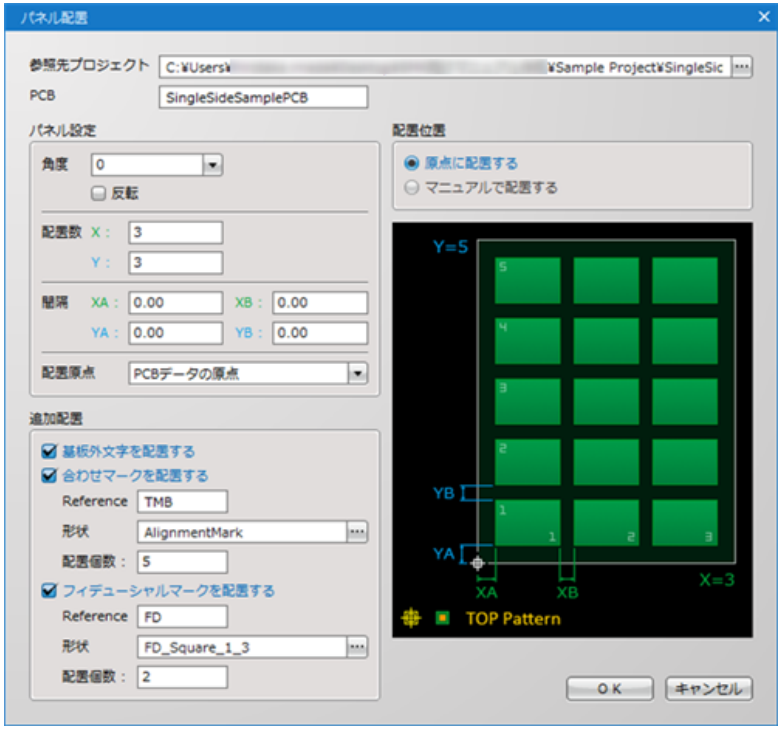
(1)【パネル】→【パネル配置】を選択

(2)「パネル配置」ダイアログにて各種設定を行い
「OK」でPCB（単基板）を配置

※パネル配置ダイアログの各設定については、
次ページをご確認ください。

Quadcept 6－2. パネル配置(2/4)

Copyright Quadcept Inc. All Rights Reserved.



■参照先ファイル：
面付けを行う元となるPCBシートを選択します。「…」クリックをすることでプロジェクトファイルの選択、及びPCBシートの選択が可能です。

■PCB：
面付けを行うPCBシートの名称が表示されます。

6－2. パネル配置(3/4)

Copyright Quadcept Inc. All Rights Reserved.

■角度：
パネルシートに配置されるPCB（パネル）の角度を設定します。

■反転：
パネルシートに配置されるPCB（パネル）の反転を設定します。

■配置数：
X軸方向・Y軸方向にいくつのPCB（パネル）を配置するか数を設定します。

■間隔：
原点から配置原点までの間隔（XA/YA）と、PCB（パネル）同士の間隔（XB/YB）を設定します。

■配置原点：
パネルシートの原点に対して、PCB(パネル）のどの位置を原点として合わせるかを設定します。

■基板外文字を配置する：
チェックを付与することで基板外文字を配置することができます。

Innovative EDA solutions Quadcept

6－2. パネル配置(4/4)

Copyright Quadcept Inc. All Rights Reserved.

■合わせマークを配置する：
チェックを付与することで合わせマークを配置することができます。配置を行う場合、以下の設定が可能です。
「Reference」：合わせマークのReferenceを設定できます。
「形状」　　：「…」から配置する合わせマークのフットプリントを選択できます。
「配置個数」　：配置する個数を設定できます。
※デフォルトとして「12_AlignmentMark」ディレクトリに用意したものがあります。

■フィデューシャルマークを配置する：
チェックを付与することでフィデューシャルマークを配置することができます。配置を行う場合、以下の設定が可能です。
「Reference」：フィデューシャルマークのReferenceを設定できます。
「形状」　　：「…」から配置するフィデューシャルマークのフットプリントを選択できます。
「配置個数」　：配置する個数を設定できます。
※デフォルトとして「13_FiducialMark」ディレクトリに用意したものがあります。

■配置位置：
「原点に配置する」か「マニュアルで配置する」（マウスによって任意の位置に配置する）かを設定します。

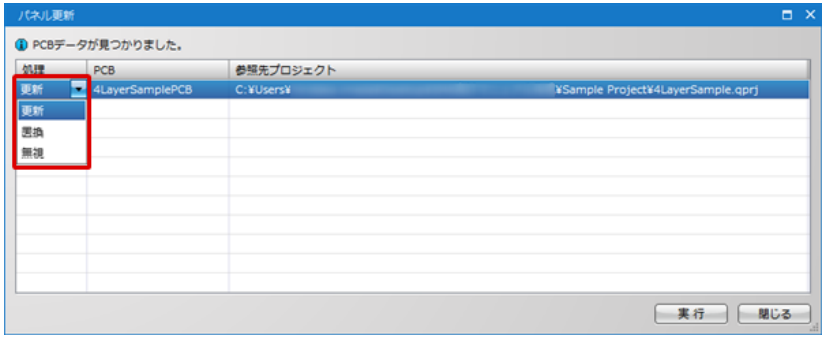
Innovative EDA solutions Quadcept

Quadcept 6－3. パネル更新

Copyright Quadcept Inc. All Rights Reserved.

配置されているPCB（パネル）を更新し、現在のPCBデータの状態を反映させる方法をご紹介します。

(1) 【パネル】→【パネル更新】を選択



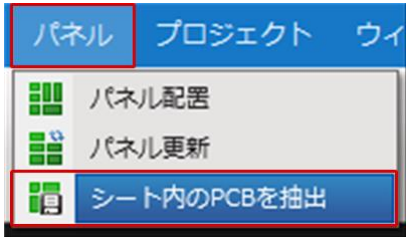
(2)「パネル更新」ダイアログにて、
配置済みの単基板に対する処理として「更新」を選択後、
「実行」を選択

※その他処理として「置換」「無視」を選択することができます。
「置換」：
「置換」を選択した場合は「…」ボタンが表示され、その他の単基板を選択・置換することが可能です。
「無視」：
「無視」を選択した場合は更新の対象外とすることが可能です。

Quadcept 6－4. パネルからPCBの抽出

Copyright Quadcept Inc. All Rights Reserved.

パネルシート内に配置されているPCB（パネル）を、同じプロジェクト内にPCBデータとして抽出する方法をご紹介します。元のPCBデータが手元にない状態でも抽出することで編集を行うことができるようになります。



（1）【パネル】→【シート内のPCBを抽出】を選択
⇒パネルシートと同じプロジェクト内にPCBシートが抽出されます。

Innovative EDA solutions Quadcept

Quadcept 7－1．メニュー構成の変更

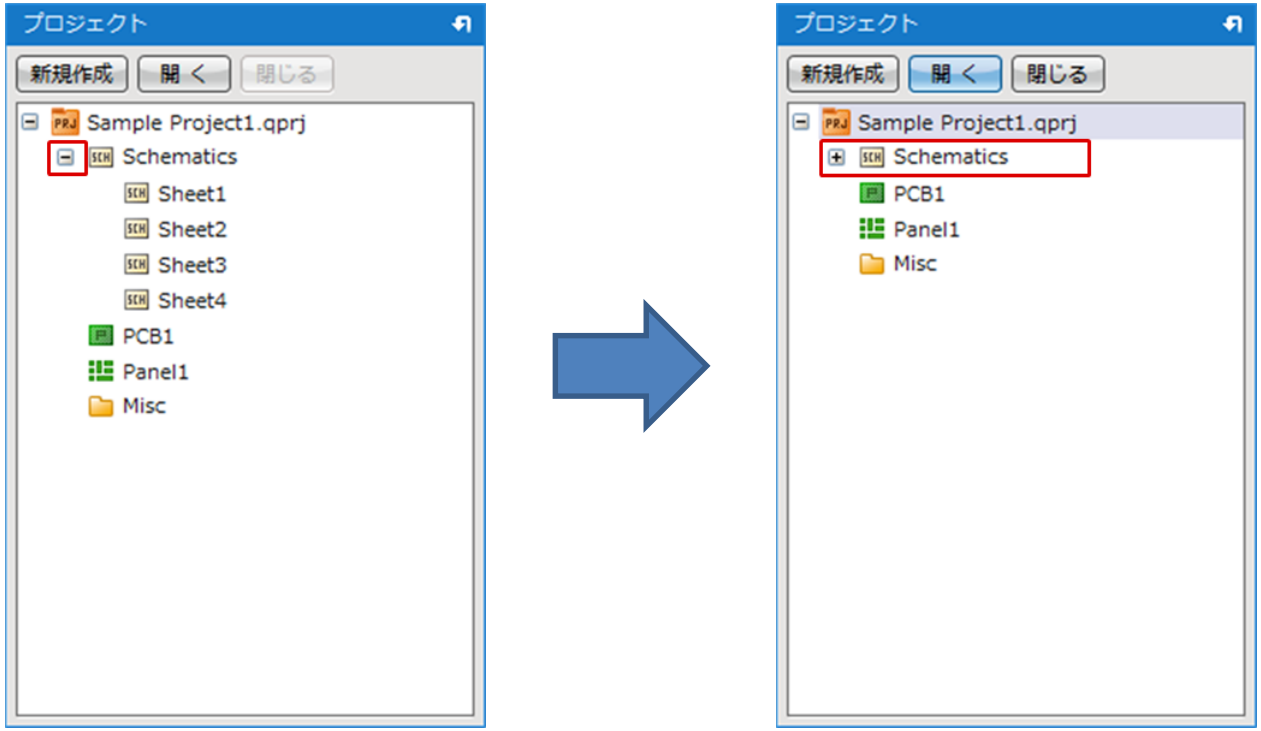
Copyright Quadcept Inc. All Rights Reserved.

【ファイル】メニュー内の構成が大きく変わりました。機能種別毎にグループ化しており、
より直観的に操作ができるよう整理を行っております。
今後は【ファイル】メニュー以外の項目についても改善を予定しております。

Quadcept 7－2. 回路図シートのツリー化

Copyright Quadcept Inc. All Rights Reserved.

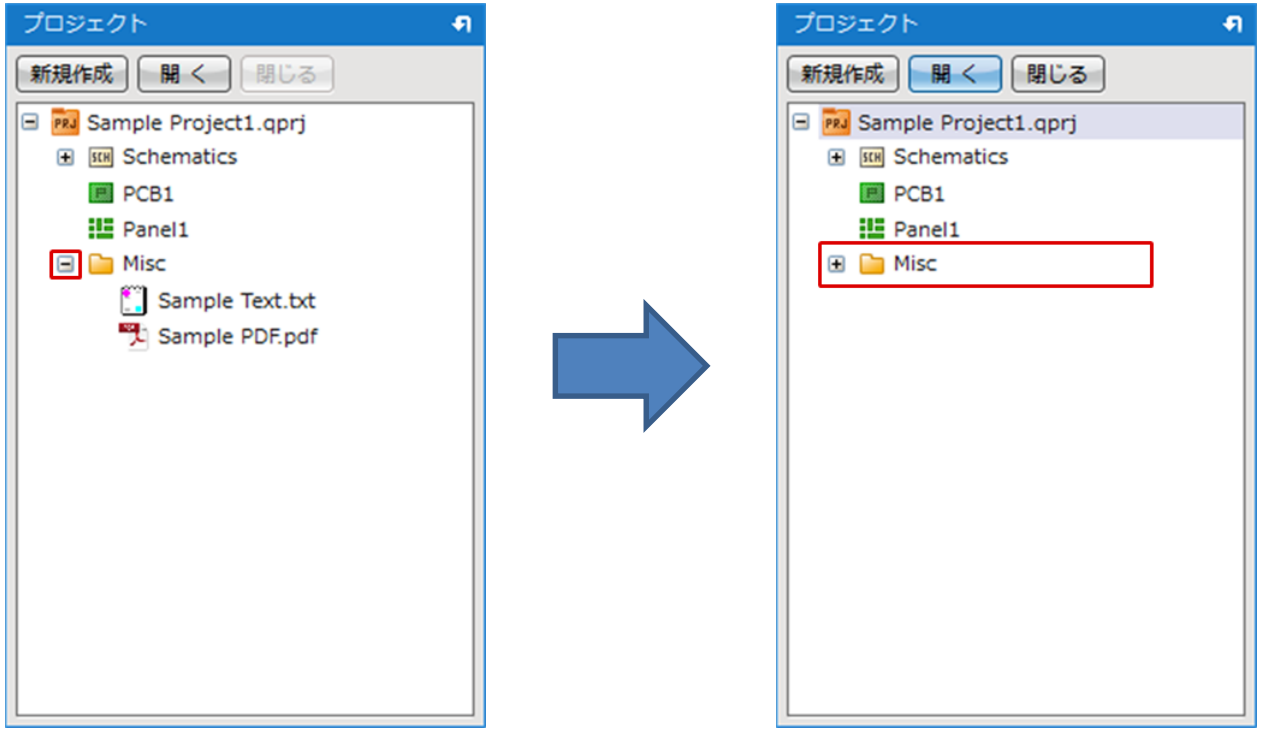
複数枚の回路図シートを折り畳むことが可能となりました。
⊟ ⊞ をクリックすることで、ツリーの展開・圧縮が可能です。



Quadcept 7－3. その他ファイル(Misc)のツリー化

Copyright Quadcept Inc. All Rights Reserved.

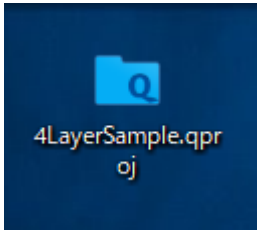
部品表やデータシート等、設計関連ファイルを折り畳むことが可能となりました。
⊟ ⊞ をクリックすることで、ツリーの展開・圧縮が可能です。

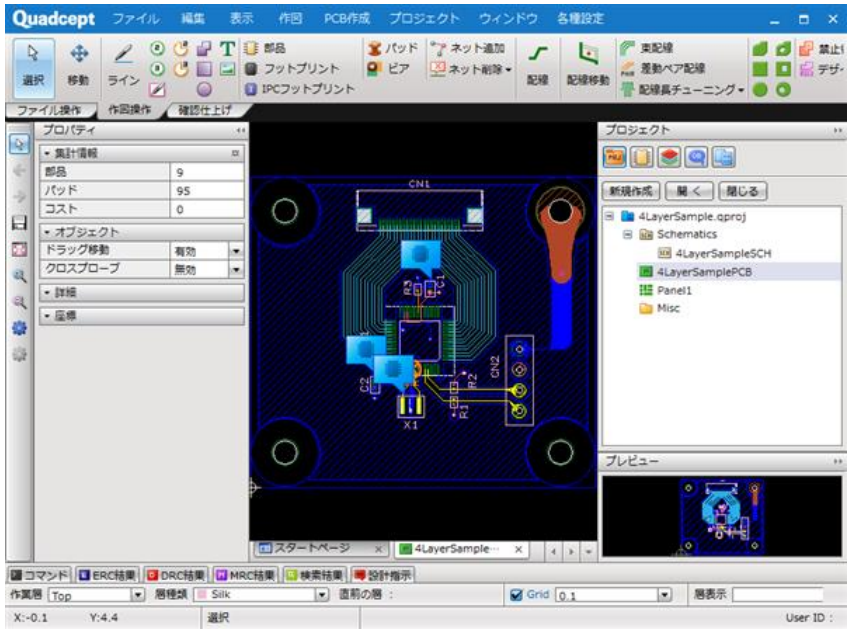


Quadcept 7－4. ファイルダブルクリックによるQuadcept起動

Copyright Quadcept Inc. All Rights Reserved.

プロジェクトファイルのファイル化に伴い、ファイルをダブルクリックすることで
Quadceptが起動するよう改善を行いました。

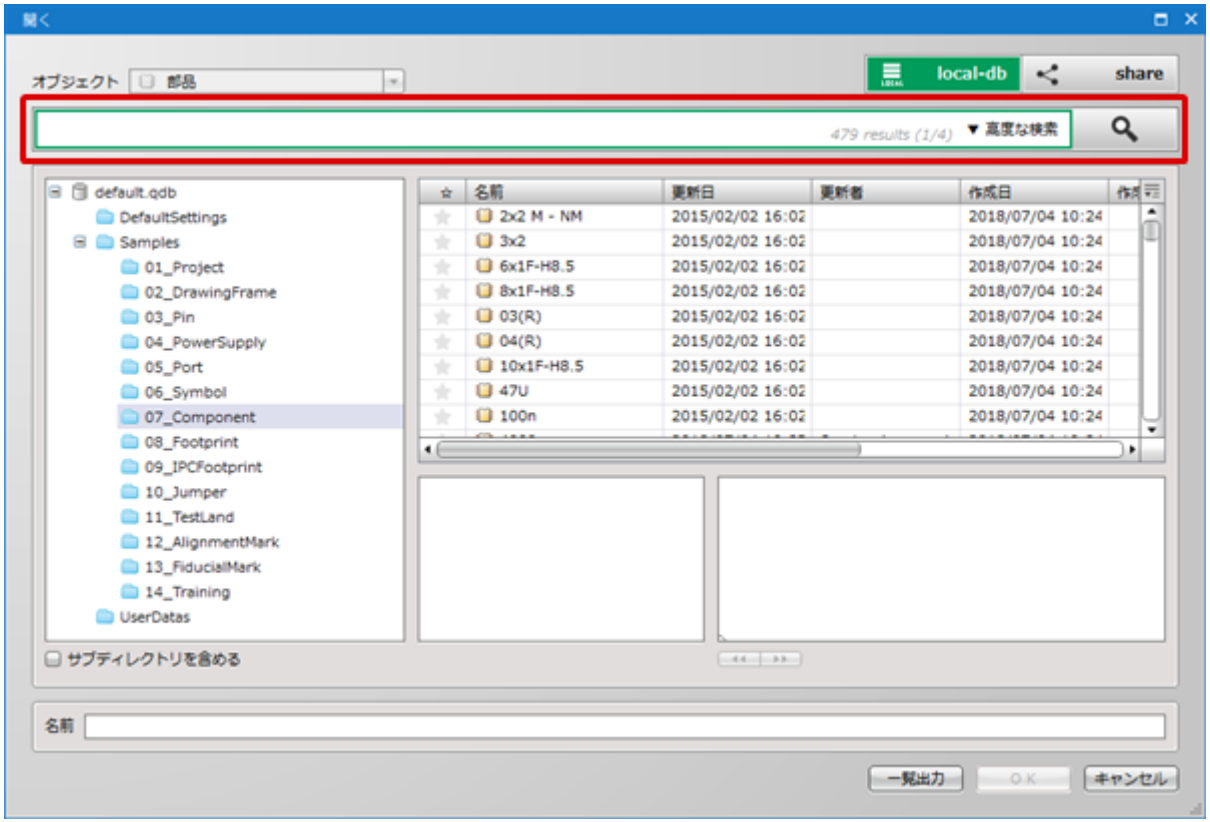




Quadcept　7－5．部品検索機能の強化

Copyright Quadcept Inc. All Rights Reserved.

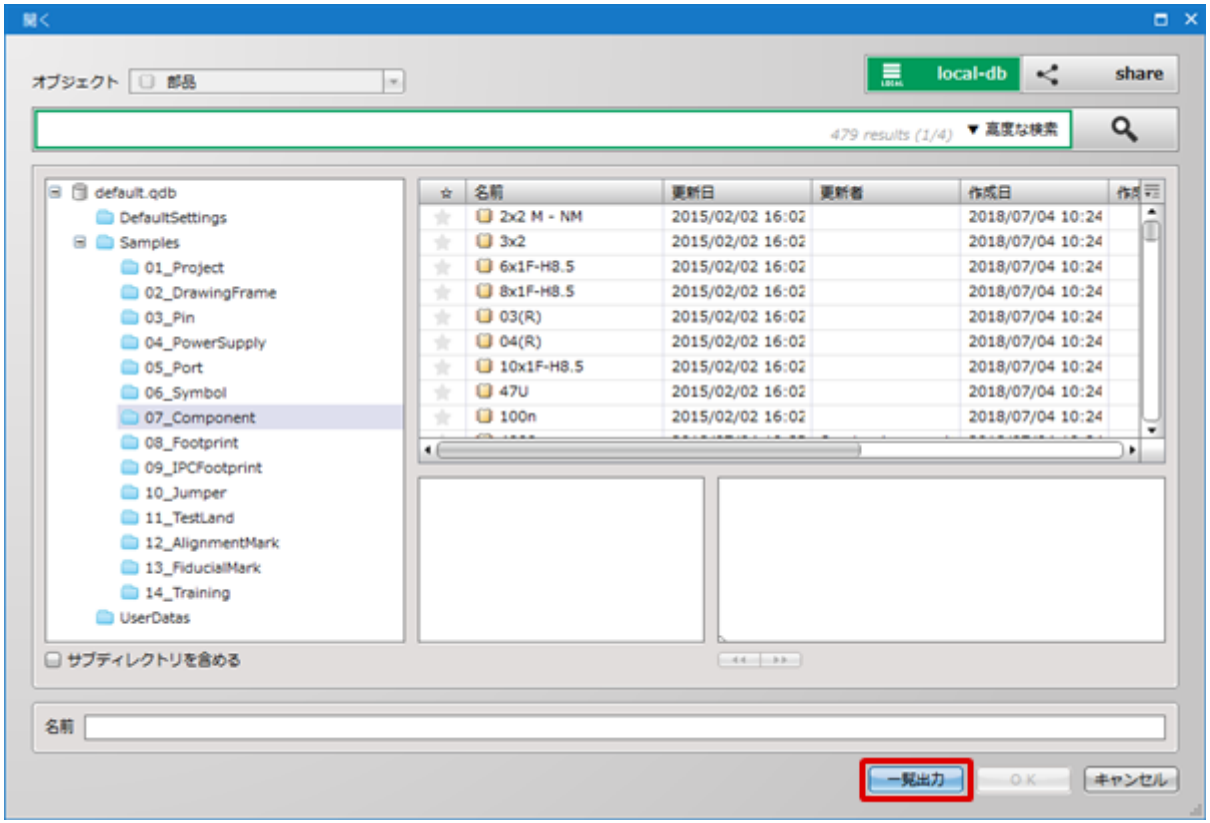
検索文字の追加、検索対象の見直しを行い、部品の検索がより行いやすくなりました。



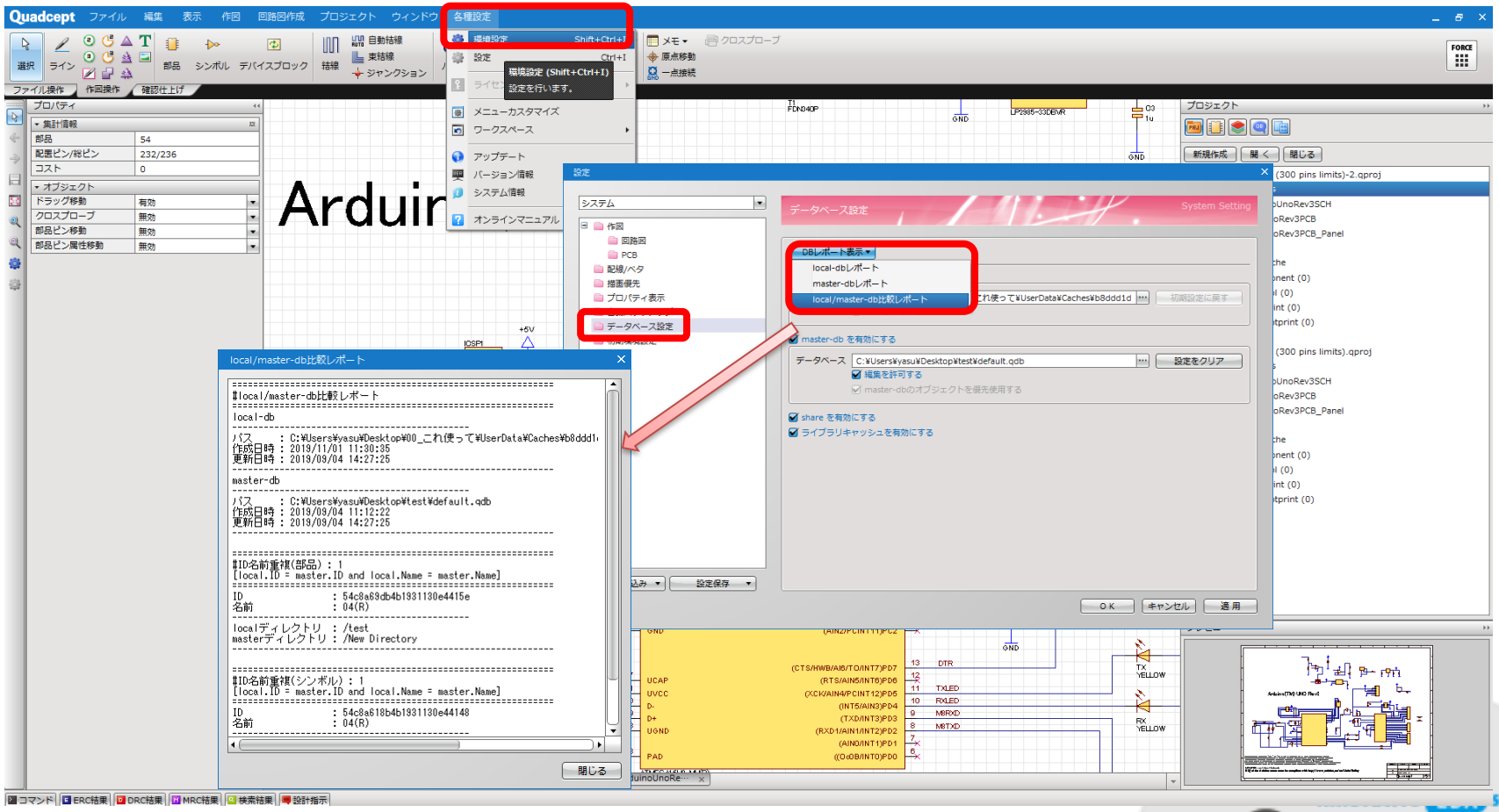
Quadcept 7－6. オブジェクト一覧の出力

Copyright Quadcept Inc. All Rights Reserved.

ライブラリ内のオブジェクトを一覧で出力することが可能となりました。「開く」ダイアログから「一覧出力」ボタンを選択することで*.csv形式でオブジェクト名の一覧を出力することが可能です。



Quadcept 7－7．DBレポートの出力

Copyright Quadcept Inc. All Rights Reserved.

ライブラリのデータの点数などレポートを出力することができます。Master-DBとLocal-DBと比較したレポートも出力することができます。
「各種設定」→「環境設定」→「データベース設定」→「DBレポート表示」